

香取典子：糖衣錠データ（糖衣前，糖衣後）の解析結果と工程内試験への適用について

含量均一性試験と重量偏差試験の適用範囲の研究報告会（2000.5）

青柳伸男：品質管理の新しい考え方について スキップ試験，工程内試験，パラメトリックリリースの実施に向けて 第37回全国衛生技術協議会（2000.10）

鹿庭なほ子，石橋無味雄：1999年度溶出試験の技能試験 第37回全国衛生化学技術協議会（2000.10）

鹿庭なほ子：高齢者とくすり  
公開講座：第7回環境科学セミナー（2000.10）

鹿庭なほ子：分析法バリデーション  
第37回全国薬事指導協議会総会（2000.11）

青柳伸男：我が国の生物学的同等性試験と国際調和  
第1回製剤機械技術研究会シンポジウム（2000.12）

鹿庭なほ子：分析法バリデーションと溶出試験  
富山県薬事研究会（2001.2）

鹿庭なほ子：生物学的同等性試験関連のガイドラインについて：処方変更，含量違い製剤のガイドライン  
後発医薬品の生物学的同等性試験関連のガイドラインに関する講演会（2001.2）

青柳伸男：後発医薬品，剤形が異なる製剤の生物学的同等性試験  
後発医薬品の生物学的同等性試験関連のガイドラインに関する講演会（2001.2）

青柳伸男：薬局方製剤試験法の国際調和  
三重県薬事研究会（2001.3）

青柳伸男，森原元彦，石井文由，緒方宏泰，瀬田康生：in vitro溶出速度と生物学的同等性との関連—ロキソプロフェンナトリウム製剤  
日本薬学会第201年会（2001.3）

石井文由，緒方宏泰，森原元彦，青柳伸男：in vitro溶出速度と生物学的同等性との関連—ニフェジピン製剤  
日本薬学会第201年会（2001.3）

森原元彦，青柳伸男，香取典子，鹿庭なほ子，小嶋茂雄，緒方宏泰：日本における無酸症の現状と15年間の推移  
日本薬学会第121年会（2001.3）

香取典子，鹿庭なほ子，青柳伸男，小嶋茂雄：日本における市販製剤の含量均一性—実態と局方規格の妥当性  
日本薬学会第121年会（2001.3）

青柳伸男：医療用後発医薬品の品質再評価について

日本薬学会第121年会（2001.3）

鹿庭なほ子，石橋無味雄，小嶋茂雄：公的機関を対象とした溶出試験による技能試験  
日本薬学会第121年会（2001.3）

青柳伸男：後発医薬品，剤形が異なる製剤の生物学的同等性試験  
後発医薬品の生物学的同等性試験関連のガイドラインに関する講演会（2001.4）

鹿庭なほ子：生物学的同等性試験関連のガイドラインについて：処方変更，含量違い製剤のガイドライン  
後発医薬品の生物学的同等性試験関連のガイドラインに関する講演会（2001.4）

伊豆津健一，小嶋茂雄：凍結濃縮による生体高分子の相分離と共存物質の影響  
低温生物工学会第46年会（2000.6）

Izutsu, K., Kojima S., : **Miscibility of Proteins and Polysaccharides in Frozen Solutions**  
2000 Colorado Protein Stability Conference (2000.7)

伊豆津健一，小嶋茂雄：凍結水溶液中におけるタンパク質と低分子添加剤の相分離  
日本薬剤学会第16年会（2001.3）

伊豆津健一，小嶋茂雄：タンパク質と添加剤の凍結相分離と凍結乾燥時の安定化作用への影響  
日本薬学会第121年会（2001.3）

Izutsu, K., Kojima S., : **Miscibility of Components in Frozen Solutions and Amorphous Freeze-dried Protein Formulations**  
The Amorphous State: A Critical Review (2001.5)

Murase, N.<sup>1</sup>, Horie, K.<sup>1</sup> and Yoshioka, S.: **Freezing and thawing behavior of polymer gels studied by X-ray diffraction and DSC simultaneous measurements**  
ISOPOW 2000, 8th International Symposium on the Properties of water (2000.9)

<sup>1</sup>東京電機大学理工学部

Yoshioka, S., Aso, Y. and Kojima, S.: **Dependence of Chemical Stability of Aspirin and Cephalothin on Molecular Mobility of Lyophilized Formulations as Determined by 13C-NMR**  
American Association of Pharmaceutical Scientists, 2000 Annual Meeting (2000.10)

吉岡澄江，阿曾幸男，小嶋茂雄：13Cおよび1HのT1およびT1ρからみた凍結乾燥製剤の分子運動性  
第39回NMR討論会（2000.11）

阿曾幸男，吉岡澄江，小嶋茂雄：NMR緩和時間測定によるハイドロゲル網目サイズの予測

## 第39回NMR討論会(2000.11)

阿曾幸男, 吉岡澄江, 小嶋茂雄: 非晶質ニフェジピンおよびフェノバルビタールの結晶化速度とガラス転移温度の昇温速度依存性から算出される緩和時間との関係  
日本薬学会第16年会(2001.3)

吉岡澄江, 阿曾幸男, 小嶋茂雄: KWW関数を利用したタンパク質凍結乾燥製剤の凝集現象の解析  
日本薬学会第121年会(2001.3)

阿曾幸男, 吉岡澄江, 小嶋茂雄: ニフェジピン-PVP 固体分散体の構造緩和時間および誘電緩和時間の測定  
日本薬学会第121年会(2001.3)

坂本知昭, 花尻瑠理, 石橋無味雄, 小嶋茂雄: 情報公開に対する国立衛研薬品部の取組み  
第37回全国衛生化学技術協議会年会(2000.10)

坂本知昭, 花尻瑠理, 石橋無味雄, 小嶋茂雄: 紫外可視吸収スペクトルによる確認試験への参照スペクトルの導入  
日本薬学会第121年会(2001.3)

坂本知昭, 花尻瑠理, 石橋無味雄, 小嶋茂雄: キノロン系抗菌薬の簡易HPLC分析法の開発  
日本薬学会第121年会(2001.3)

最所和宏, Karen Scott, 森本鎮義\*, 中原雄二: ラット及びヒト毛髪中の Sildenafil (Viagra) 及び脱メチル代謝物の抽出法とGC-MSによる同定と定量  
日本薬学会第121年会(2001.3)

\*市立岸和田市民病院

Hayakawa, T.: **Perspective on assessing comparability of biotechnology products -A view from Japan-**  
Biologics 2000 Conference (2000.6)

Hayakawa, T.: **Perspective on Comparability of Biotechnology Products**  
The 3rd International Conference, Strategic Use of Comparability Studies and Assays for Well Characterized Biologicals (2000.9)

Hayakawa, T.: **Specifications for Biotechnological Substances**  
The Fifth International Conference on Harmonisation (2000.11)

Hayakawa, T.: **Biotech Process Evaluation**  
The Fifth International Conference on Harmonisation (2000.11)

日向須美子, 川崎ナナ, 日向昌司, 太田美矢子, 柴山理恵, 川西 徹, 山形貞子\*, 山形達也\*, 早川堯夫: HGFで誘導される高転移性癌細胞の運動能のガングリオシドGD1aによる抑制機構  
第59回日本癌学会総会(2000.10)

\*財日本皮革研究所

川崎ナナ, 太田美矢子, 伊藤さつき, 配島由二, 日向昌司,

日向須美子, 早川堯夫: LC/MSによるエリスロポエチンの硫酸化糖鎖の解析  
日本薬学会第121年会(2001.3)

太田美矢子, 川崎ナナ, 伊藤さつき, 日向昌司, 日向須美子, 早川堯夫: 糖タンパク質性医薬品の同等性・同質性評価法としてのLC/MSの有用性  
日本薬学会第121年会(2001.3)

伊藤さつき, 川崎ナナ, 太田美矢子, 日向昌司, 日向須美子, 早川堯夫: LC/MSを用いた組換え型ヒトトロポモジュリンの糖鎖解析  
日本薬学会第121年会(2001.3)

日向昌司, 川崎ナナ, 太田美矢子, 伊藤さつき, 日向須美子, 早川堯夫: GlcNAc転移酵素III遺伝子導入による組換えフォリスタチンの糖鎖構造の改変  
日本薬学会第121年会(2001.3)

豊田淑江, 山口照英, 内田恵理子, 早川堯夫: HL-60細胞の好中球分化に存在するトランスフェリン受容体(Trf-R)陽性細胞及び陰性細胞の分化・増殖におけるp70 S6キナーゼの役割とその上流の解析  
第21日本炎症学会(2000.5)

豊田淑江, 山口照英, 押澤正, 内田恵理子, 早川堯夫: HL-60細胞の好中球分化への機能成熟や増殖におけるp70 S6キナーゼ(p70S6K)カスケードの役割についての解析  
第73回日本生化学大会(2000.10)

豊田淑江, 山口照英, 押澤正, 内田恵理子, 早川堯夫: HL-60細胞の好中球分化への機能成熟や増殖におけるp70 S6キナーゼ(p70S6K)カスケードの役割についての解析  
第30回日本免疫学会総会(2000.11)

川西 徹, 柴山理恵, 河合 洋, 大幡久之\*, 百瀬和享\*, 早川堯夫: 細胞内カルシウムイオン貯蔵へのトリプチル錫の影響  
第9回日本バイオイメーキング学会学術集会(2000.11)  
\*昭和大学薬学部

川西 徹: カルシウムイオンダイナミクスを見る: 生命の躍動  
第20回東邦大学生命科学シンポジウム(2000.12)

田中 光\*, 河合 洋, 柴山理恵, 水口裕之, 川西 徹, 早川堯夫, 田中直子\*, 重信弘毅\*: アデノウィルスベクターを用いた培養心筋および肝細胞へのGFPおよびカメレオン遺伝子導入の試み  
第74回日本薬理学会年会(2001.3)  
\*東邦大学薬学部

河合 洋, 柴山理恵, 水口裕之, 川西 徹, 田中 光\*, 田中直子\*, 重信弘毅\*, 早川堯夫: アデノウィルスベクターを用いた初代培養肝細胞へのCa<sup>2+</sup>プローブの導入  
日本薬学会第121年会(2001.3)

\*東邦大学薬学部

川西 徹, 河合 洋, 柴山理恵, 水口裕之, 田中 光\*, 田中直子\*, 重信弘毅\*, 早川堯夫: 生細胞の機能を視るプローブ—その光と影—

日本電子顕微鏡学会第57回学術講演会シンポジウム (2001.5)

\*東邦大学薬学部

Mizuguchi, H., Kay, M.A.\*, Hayakawa, T.: **A simplified system for constructing recombinant adenoviral vectors containing heterologous peptides in the HI loop of their fiber knob**  
American Society of Gene Therapy, 3rd Annual Meeting (2000.6)

\*Stanford University

水口裕之, 細野哲司, 早川堯夫: アデノウイルスベクター作製技術と次世代ベクターへの応用

第3回 Cell Biology Summer Meeting (2000.6)

Mizuguchi, H., Hosono, T., Hayakawa, T.: **A Simplified System to Construct Fiber-Mutant Adenovirus Vectors for Retargeted Gene Delivery**

第6回日本遺伝子治療学会総会 (2000.7)

Nagayama, Y.<sup>1</sup>, Namba, H., Yokoi, H.<sup>1</sup>, Hasegawa, M.<sup>2</sup>, Mizuguchi, H., Hayakawa, T., Hamada, H.<sup>3</sup>, Yamashita, S.<sup>1</sup>, Niwa, M.<sup>1</sup>: **Targeting the replication of adenovirus to p53-defective thyroid carcinoma with a p53-responsive promoter and the cre-loxP system**

第6回日本遺伝子治療学会総会 (2000.7)

<sup>1</sup>長崎大学医学部

<sup>2</sup>ディナベック研究所

<sup>3</sup>札幌医科大学

水口裕之, 早川堯夫: ターゲティングに応用可能な新規アデノウイルスベクターの開発

第16回日本DDS学会 (2000.7)

Uchida, E., Hayakawa, T.: **Quality and safety evaluation of gene therapy products in Japan**

The 4th annual KFDA international symposium, Gene Therapeutic Agents—Past, Present, and Future (2000.9)

水口裕之, 早川堯夫: アデノウイルスベクター作製技術と次世代ベクターへの応用

第59回日本癌学会総会 (2000.9)

大森信彦<sup>1</sup>, 水口裕之, 秋田朗子<sup>1</sup>, 星川裕<sup>1</sup>, 下重美紀<sup>1</sup>, 早川堯夫, 高坂新一<sup>2</sup>, 芝崎 太<sup>1</sup>: ファイバーミュータントアデノウイルスベクターを用いた, ミクログリアへの遺伝子導入

第23回日本神経科学大会・第10回日本神経回路学会大会合同大会 (2000.9)

<sup>1</sup>東京都臨床医学総合研究所

<sup>2</sup>国立精神・神経センター

内田恵理子, 水口裕之, 石井(渡部)明子, 日向昌司, 早川堯夫: プラスミドの複製, 安定性に関するヒトDNA配列の探索

第73回日本生化学会大会 (2000.10)

岡田直貴<sup>1</sup>, 森 宏平<sup>1</sup>, 斎藤友美<sup>1</sup>, 藤田卓也<sup>1</sup>, 山本 昌<sup>1</sup>, 塚田有希子<sup>2</sup>, 中川晋作<sup>2</sup>, 真弓忠範<sup>2</sup>, 水口裕之, 早川堯夫: ファイバーミュータントアデノウイルスベクターを用いた樹状細胞への効率的な遺伝子導入

第50回日本薬学会近畿支部総会 (2000.10)

<sup>1</sup>京都薬科大学

<sup>2</sup>大阪大学大学院薬学研究科

塚田有希子<sup>1</sup>, 中川晋作<sup>1</sup>, 岡田直貴<sup>2</sup>, 森 宏平<sup>2</sup>, 斎藤友美<sup>2</sup>, 藤田卓也<sup>2</sup>, 山本 昌<sup>2</sup>, 水口裕之, 早川堯夫, 真弓忠範<sup>1</sup>: 樹状細胞への効率的な遺伝子導入を目指したアデノウイルスベクターの開発

日本バイオマテリアル学会シンポジウム2000 (2000.11)

<sup>1</sup>大阪大学大学院薬学研究科

<sup>2</sup>京都薬科大学

Mizuguchi, H., Hayakawa, T.: **Improvement of Adenovirus Vectors for Gene Transfer**

The Thirteenth Annual Meeting of the Japanese Association for Animal Cell Technology (2000.11)

水口裕之, 早川堯夫: 新規アデノウイルスベクターシステムの開発

第23回日本分子生物学会 (2000.12)

Nakagawa, S.\*, Imazu, S.\*, Hayashi, K.\*, Tsuda, Y.\*, Mizuguchi, H., Hayakawa, T., Mayumi, T.\*: **Cancer immunotherapy using fusogenic liposome as a gene transfer vector**

The 5th Joint Conference of AACR and JCA (2001.2)

\*大阪大学大学院薬学研究科

水口裕之, 早川堯夫: 次世代アデノウイルスベクターの開発  
日本薬学会121年会 (2001.3)

徐 志利, 水口裕之, 石井(渡部)明子, 内田恵理子, 真弓忠範\*, 早川堯夫: 各種転写活性化因子の系統的機能評価と最適なプラスミドベクターの開発

日本薬学会121年会 (2001.3)

\*大阪大学大学院薬学研究科

小泉直也, 水口裕之, 細野哲司, 瓶子宣子, 村井 淳, 宇都口直樹\*, 渡辺善照\*, 早川堯夫: RGD配列を有したファイバーミュータントアデノウイルスベクターの有効性—ヒト, マウス由来細胞株における検討—

日本薬学会121年会 (2001.3)

\*昭和薬科大学

津田育宏<sup>1</sup>, 中川晋作<sup>1</sup>, 塚田有希子<sup>1</sup>, 水口裕之, 早川堯夫, 中山隆史<sup>2</sup>, 義江 修<sup>2</sup>, 真弓忠範<sup>1</sup>: ケモカインを用いた癌免疫療法に関する基礎的検討

日本薬剤学会第16年会 (2001.3)

\*1 大阪大学大学院薬学研究科

\*2 近畿大学医学部

井上暢子<sup>\*1</sup>, 岡田裕香<sup>\*2</sup>, 中川晋作<sup>\*1</sup>, 岡田直貴<sup>\*3</sup>, 水口裕之, 早川堯夫, 真弓忠範<sup>\*1</sup>: 癌サイトカイン遺伝子治療における次世代型ファイバーミュータントアデノウイルスベクターの有用性

日本薬剤学会第16年会 (2001.3)

\*1 大阪大学大学院薬学研究科

\*2 武庫川女子大学薬学部

\*3 京都薬科大学

岡田直貴<sup>\*1</sup>, 森 宏平<sup>\*1</sup>, 斎藤友美<sup>\*1</sup>, 舛永安繁<sup>\*1</sup>, 藤田淳子<sup>\*1</sup>, 塚田有希子<sup>\*2</sup>, 中川晋作<sup>\*2</sup>, 真弓忠範<sup>\*2</sup>, 水口裕之, 早川堯夫, 藤田卓也<sup>\*1</sup>, 山本 昌<sup>\*1</sup>: ファイバーミュータントアデノウイルスベクターによる樹状細胞への遺伝子導入効率と機能修飾

日本薬剤学会第16年会 (2001.3)

\*1 京都薬科大学

\*2 大阪大学大学院薬学研究科

岡田直貴<sup>\*1</sup>, 森 宏平<sup>\*1</sup>, 斎藤友美<sup>\*1</sup>, 舛永安繁<sup>\*1</sup>, 藤田淳子<sup>\*1</sup>, 塚田有希子<sup>\*2</sup>, 中川晋作<sup>\*2</sup>, 真弓忠範<sup>\*2</sup>, 水口裕之, 早川堯夫, 藤田卓也<sup>\*1</sup>, 山本 昌<sup>\*1</sup>: 次世代型アデノウイルスベクターによる樹状細胞への遺伝子導入

日本薬学会第121年会 (2001.3)

\*1 京都薬科大学

\*2 大阪大学大学院薬学研究科

塚田有希子<sup>\*1</sup>, 中川晋作<sup>\*1</sup>, 岡田直貴<sup>\*2</sup>, 森 宏平<sup>\*2</sup>, 斎藤友美<sup>\*2</sup>, 藤田卓也<sup>\*2</sup>, 山本 昌<sup>\*2</sup>, 水口裕之, 早川堯夫, 真弓忠範<sup>\*1</sup>: 樹状細胞を用いた癌免疫療法における次世代型アデノウイルスベクターの有用性評価

日本薬学会第121年会 (2001.3)

\*1 大阪大学大学院薬学研究科

\*2 京都薬科大学

佐竹元吉: 世界の薬用植物 - WHOの動き -

日本薬学会第121年会 (2001.3)

森原直明<sup>\*1</sup>, 牛島光保<sup>\*1</sup>, 榎本尚樹<sup>\*1</sup>, 許栄海<sup>\*1</sup>, 春日繁男<sup>\*1</sup>, 荒川正人<sup>\*1</sup>, 黒柳正典<sup>\*2</sup>, 関田節子, 佐竹元吉: マウスの湯温負荷精巣障害モデルを用いた強精生薬の探索研究(2)イカリソウおよびニンニクの精子形成作用

日本薬学会第121年会 (2001.3)

\*1 湧永製薬

\*2 広島県大

黒柳正典<sup>\*1</sup>, 杜 暁<sup>\*1</sup>, 松浦広道<sup>\*2</sup>, 川原信夫: サワラ *Chamaecyperis pisifera* の抗菌活性物質

日本生薬学会第47年会 (2000.9)

\*1 広島県大

\*2 湧永製薬

佐竹元吉, 中根孝久, 淵野裕之, 川原信夫, 尹永淑, 鎌倉浩之, 関田節子: 未規制薬物の乱用防止に関する研究(5)

日本生薬学会第47年会 (2000.9)

増田和夫<sup>\*1</sup>, 高野昭人<sup>\*1</sup>, 内田夕美子<sup>\*1</sup>, 上田博之<sup>\*1</sup>, 塩島憲治<sup>\*1</sup>, 川原信夫, 中根孝久, 関田節子, 佐竹元吉, Kuber J. Malla<sup>\*</sup>: シダ植物成分: ネパール産 *Aleuritopteris anceps* の新規セスターテルペノイド(4)

日本生薬学会第47年会 (2000.9)

\*1 昭和薬科大

\*2 ネパール植物資源局

山崎勝弘<sup>\*</sup>, 川口正美<sup>\*</sup>, 起橋雅浩<sup>\*</sup>, 関田節子, 佐竹元吉: 漢方製剤中に混入するアリストロキア酸の迅速分析法

日本薬学会第121年会 (2001.3)

\*大阪府公衛研

高上馬希重, 飯田 修, 栗原孝吾, 山田和也, 関田節子, 佐竹元吉: *Cinnamomum* 属植物における non-coding trnL-trnF chloroplast DNA に基づく種間変異

日本薬学会第121年会 (2001.3)

奥山恵美<sup>\*1</sup>, 嶋村 健<sup>\*1</sup>, 永松千加子<sup>\*1</sup>, 藤本治宏<sup>\*1</sup>, 石橋正己<sup>\*1</sup>, 関田節子, 佐竹元吉, J.Ruiz<sup>\*2</sup>, F.Ayala Flores<sup>\*2</sup>, S. Yuenyongsawad<sup>\*3</sup>: PG拮抗活性並びにDPPH試験を指標としたペルー民間薬 Chuchuhuashi の活性成分

日本薬学会第121年会 (2001.3)

\*1 千葉大薬

\*2 HEA-Peru

\*3 Prince of Songkla Univ.

安田一郎<sup>\*1</sup>, 中嶋順一<sup>\*1</sup>, 畠山好雄, 関田節子, 佐竹元吉: 未規制薬物の乱用防止に関する研究(5) アルカロイドに基づくウバタマ植物の化学的分類

日本薬学会第121年会 (2001.3)

\*1 都立衛研

小島 尚<sup>\*</sup>, 土井佳代<sup>\*</sup>, 岸美智子<sup>\*</sup>, 佐藤修二<sup>\*</sup>, 関田節子, 佐竹元吉: 未規制薬物の乱用防止に関する研究(7) メラトニン含有サプリメントの品質について

日本薬学会第121年会 (2001.3)

\*神奈川衛研

後藤智美<sup>\*1</sup>, 三上栄一<sup>\*1</sup>, 大野 勉<sup>\*1</sup>, 松本 浩<sup>\*1</sup>, 金森久幸<sup>\*2</sup>, 関田節子, 佐竹元吉: 未規制薬物の乱用防止に関する研究(8) 健康食品に添加が疑われる7種の向精神薬の同時分析

日本薬学会第121年会 (2001.3)

\*1 愛知県衛生研

\*2 広島県保環センター

金森久幸<sup>\*</sup>, 豊田安基江<sup>\*</sup>, 松尾 健<sup>\*</sup>, 井手吉範久<sup>\*</sup>, 関田節子, 佐竹元吉: 未規制薬物の乱用防止に関する研究(9) イチヨウ葉製品中の ginkgolic acid 類および 4-O-methyl-pyridoxine の分析

日本薬学会第121年会 (2001.3)

\*広島県保環センター

Hiroyuki Fuchino, Marii Takahashi, Tatsuo Koide, Setsuko Sekita

and Motoyoshi Satake : **LEISHMANICIDAL CONSTITUENTS FROM MEDICINAL PLANTS IN SOUTH AMERICA**

22<sup>nd</sup> IUPAC International Symposium on the Chemistry of Natural Products, (2000. 9)

瀧野裕之, 小出達夫, 高橋真理衣, 関田節子, 佐竹元吉: 抗リーシュマニア活性を有する薬用植物の成分研究(1) 南米産薬用植物の成分について

日本薬学会第 121 年会 (2001.3)

尾崎幸絃: 類似生薬の医薬品としての同等性についての評価方法についての研究

第七回中国薬理学会中薬薬理討論会, 中国西安 (2000.10)

Nobuo Kawahara, Atsuyo Kurata\*, Maiko Tsuru\*, Kazu Sasai\*, Takashi Hakamatsuka\*, Setsuko Sekita and Motoyoshi Satake : **NOVEL CUCURBITACINS FROM THE BRAZILIAN FOLK MEDICINE "BUCHINHA" (LUFFA OPERCULATA).**

22nd IUPAC International Symposium on the Chemistry of Natural Products, (2000. 9)

\*東京理科大・薬

川原信夫, 野沢雅人<sup>\*1</sup>, 関田節子, 佐竹元吉, 萩原 勲<sup>\*1</sup>, 倉田敦代<sup>\*1</sup>, 笹井加都<sup>\*1</sup>, 水流真依子<sup>\*1</sup>, 富野浩充<sup>\*1</sup>, 袴塚高志<sup>\*1</sup>, 河合賢一<sup>\*2</sup>: 細胞内情報伝達系に作用する南米産薬用植物の成分研究

第 42 回天然有機化合物討論会 (2000.11)

\*<sup>1</sup> 東京理科大・薬

\*<sup>2</sup> 星薬大

袴塚高志\*, 水流真依子\*, 倉田敦代\*, 笹井加都\*, 川原信夫, 関田節子, 佐竹元吉: 骨代謝関連遺伝子の発現を変調させる天然生物活性化合物の探索

第 20 回メディシナルケミストリーシンポジウム (2000.12)

\*東京理科大・薬

川原信夫: 第 14 改正日本薬局方と中華人民共和国薬典 2000 年版の比較一試験法と規格値について一

第 5 回薬局方生薬に関する日中国際共同シンポジウム (2001.2)

増田和夫\*, 高野昭人\*, 内田夕美子\*, 上田博之\*, 塩島憲治\*, 川原信夫, 中根孝久, 関田節子, 佐竹元吉: シダ植物成分: ネパール産 *Aleuritopteris anceps* の新規セスターテルペノイド (5)

日本薬学会第 121 年会 (2001.3)

\*昭和薬科大

増田和夫\*, 伊藤卓也\*, 中根孝久, 川原信夫, 清谷多美子\*, 上田博之\*, 塩島憲治\*: シダ植物成分: 台湾産アヤマメシダの C31 新規トリテルペノイド炭化水素

日本薬学会第 121 年会 (2001.3)

\*昭和薬科大

黒柳正典<sup>\*1</sup>, 川原信夫, 関田節子, 佐竹元吉, 林 達男<sup>\*2</sup>: ブラジル産植物 *Cordia multispicata* の成分 (2)

日本薬学会第 121 年会 (2001.3)

\*<sup>1</sup> 広島県立大

\*<sup>2</sup> ㈱ライオン

川原信夫, 佐藤亜希\*, 袴塚高志\*, 関田節子, 佐竹元吉: 骨代謝関連遺伝子の発現変調活性を有するブラジル産薬用植物 *Canna angustifolia* の成分研究

日本薬学会第 121 年会 (2001.3)

\*東京理科大・薬

中根孝久, 川原信夫, 瀧野裕之, 関田節子, 佐竹元吉: 未規制薬物の乱用防止に関する研究 (6) - GBH, GBL, BD 及び AMT の分析 -

日本薬学会第 121 年会 (2001.3)

李書淵, 瀧野裕之, 高橋真理衣, 川原信夫, 関田節子, 佐竹元吉: 抗リーシュマニア活性を有する薬用植物の成分研究 (2) *Smilax* 属のフェノール性成分について

日本薬学会第 121 年会 (2001.3)

鎌倉浩之, 関田節子: 放射線照射による生薬の成分変化 第 8 回生薬の品質保証に関する研究会 (2000. 9)

Kamakura, H., Hirano, T<sup>\*1</sup>, Ito, H<sup>\*2</sup>, Sunaga, H<sup>\*1</sup>, Takizawa, H<sup>\*1</sup>, Takatani, Y<sup>\*1</sup>, Sekita, S., Satake, S.: **Studies on the Sterilization Methods for the Crude Drugs Possibility of EB Machine for Decontamination of Crude Drugs and Influence on the Components of Crude Drugs by Irradiation**

12th International Meeting on Radiation Processing (2001.3)

\*<sup>1</sup> Communication Systems Center, MITSUBISHI ELECTRIC CORPORATION

\*<sup>2</sup> Takasaki Establishment, Japan Atomic Energy Research Institute, Japan

Osamu Shirota, Sekita Setsuko, Motoyoshi Satake : **Study on the chemical constituents of Amazonian medicinal plants**

International Congress on Traditional Medicine (2001.1)

代田 修, 中西香爾<sup>\*1</sup>, Nina Berova<sup>\*1</sup>: ファイトスフィンゴシンの合成と分光分析法による立体異性体識別

第 121 回日本薬学会年回 (2001.3)

\*<sup>1</sup> コロンビア大学

尹 永淑, 杉本直樹, 米谷民雄, 関田節子, 佐竹元吉: たばこの成分研究 (4)

日本生薬学会第 47 回年会 (2000.9)

李 宜融, 高上馬希重, 飯田 修, 関田節子, 佐竹元吉, 牧野由紀子<sup>\*1</sup>, 内山 寛<sup>\*2</sup>, 小山鐵夫<sup>\*2</sup>: 種子導入した世界各地の *Cannabis sativa* の特性 (3) *Cannabis sativa* の染色体数の変異

日本薬学会第 121 年会 (2001.3)

\*<sup>1</sup> 関東麻取

\*<sup>2</sup> 日大生物資源科学部

下村裕子, 関田節子, 佐竹元吉, 徳川斉正<sup>\*1</sup>, 徳川真木<sup>\*1</sup>:

## 徳川家康の薬「烏犀圓」Ⅲ

日本生薬学会第47回年会(2000.9)

\*<sup>1</sup>水府明徳会彰考館徳川博物館下村裕子, 関田節子, 佐竹元吉, 徳川斉正\*<sup>1</sup>, 徳川真木\*<sup>1</sup>:

## 徳川家康の薬「烏犀圓」Ⅳ

日本薬学会第121年会(2001.3)

\*<sup>1</sup>水府明徳会彰考館徳川博物館

土屋利江, 板橋由佳, 坂井正宗\*: 組織工学材料の生体適合性評価(1)ポリ乳酸等の軟骨分化に及ぼす効果

日本バイオマテリアル学会シンポジウム 2000(2000.11)

\*宇部興産

土屋利江: 人工臓器材料の長期間安全性評価に有用な指標に関する基礎的研究

創薬等ヒューマンサイエンス総合研究事業(第1期)研究成果発表会(2001.3)

Toshie Tsuchiya, Tadahiko Mashino\*: **A remarkable promoting action of an aqueous fullerene derivative on the chondrogenesis in rat limb bud cell culture system**

Third biennial meeting of the tissue engineering society(2000.10)

\*共立薬科大

Toshie Tsuchiya, Yuka Itahashi, Tomoko Ichikawa: **Studies on the Biocompatibility of artificial organs and tissue engineered products: Embryonic neuronal cell differentiation on the various kinds of biodegradable polymers**

The 13th annual meeting of the Japanese association for animal cell technology(2000.11)

Aikra Ichikawa, Toshie Tsuchiya: **Reversion of transformed phenotype of polyetherurethane-induced tumor cells by Cx43 transfection**

The 13th annual meeting of the Japanese association for animal cell technology(2000.11)

市川 明, 土屋利江: ギャップ結合タンパク質コネキシン43の過剰発現は化学発癌物質に対する感受性を高める  
第23回日本分子生物学会年会(2000.12)

朴 正雄, 土屋利江: バイオ人工臓器開発のための多糖類の安全性評価

第49高分子討論会(2000.9)

朴 正雄, 土屋利江: 多糖類を応用したバイオ人工臓器開発における *in vitro* での安全性評価

日本バイオマテリアル学会シンポジウム 2000(2000.11)

Muhammad Shahidur Rahman, Toshie Tsuchiya: **In vitro culture of human chondrocytes (1): Effects of factors on chondrogenesis for tissue engineering**

日本バイオマテリアル学会シンポジウム 2000(2000.11)

Muhammad Shahidur Rahman, Toshie Tsuchiya: **Studies on the****enhancement of chondrogenic differentiation of human chondrocytes for tissue engineering**

The 13th annual meeting of the Japanese association for animal cell technology(2000.11)

長田和浩, 土屋利江, 市川 明, Muhammad Shahidur Rahman: 人工臓器を生体に適用する際に引き起こされる免疫原性の評価系の確立と応用に関する研究

日本バイオマテリアル学会シンポジウム 2000(2000.11)

角出泰造, 土屋利江: コンタクトレンズ用化学消毒剤の細胞間連絡機能に及ぼす影響

日本バイオマテリアル学会シンポジウム 2000(2000.11)

角出泰造, 土屋利江: コンタクトレンズ用化学消毒剤の細胞間連絡機能に及ぼす影響

第3回眼科生体材料研究会(2000.11)

齋島由二, 村井敏美, 中川ゆかり, 長谷川千恵, 平田陸正\*, 矢上 健, 中村晃忠: 天然医用材料由来創傷被覆材のエンドトキシン汚染調査

日本薬学会第121年会(2001.3)

\*岩手医科大

矢上 健: ラテックスアレルギーやOASに関わる交叉反応性抗原

第5回日本ラテックスアレルギー研究会(2000.7)

杉本真純\*<sup>1</sup>, 大砂博之\*<sup>1</sup>, 比江森美樹\*<sup>2</sup>, 小川 正\*<sup>3</sup>, 矢上 健, 池澤善郎\*<sup>1</sup>: ラテックスアレルギー患者とアトピー性皮膚炎患者におけるヘパインの血清IgE値と皮膚ブリック試験  
第5回日本ラテックスアレルギー研究会(2000.7)\*<sup>1</sup>横浜市立大学医学部\*<sup>2</sup>徳島大学医学部\*<sup>3</sup>京都大学食糧科学研究所Kitagawa, K.\*<sup>1</sup>, Fujiwara, H.\*<sup>1</sup>, Futaki, S.\*<sup>2</sup>, Yagami, T.: **Total synthesis of cholecystokinin-58 by a thioester segment condensation approach**

26th European Peptide Symposium(2000.9)

\*<sup>1</sup>新潟薬科大学\*<sup>2</sup>京都大学化学研究所Sugimoto, M.\*<sup>1</sup>, Osuna, H.\*<sup>1</sup>, Yamamoto, M.\*<sup>1</sup>, Okajima, M.\*<sup>1</sup>, Onuma, S.\*<sup>1</sup>, Tsubaki, K.\*<sup>2</sup>, Yagami, T., Ikezawa, Z.\*<sup>1</sup>: **A role of pathogenesis-related proteins in patients with latex allergy and atopic dermatitis**

XVII International Congress of Allergology and Clinical Immunology(2000.10)

\*<sup>1</sup>横浜市立大学医学部\*<sup>2</sup>アレルギー・フリーテクノロジー研究所

鹿庭正昭, 五十嵐良明: プラスチック製めがね部品によるアレルギー性接触皮膚炎: 着色剤の役割

第37回全国衛生化学技術協議会(2000.10)

中島晴信<sup>\*1</sup>, 松永一朗<sup>\*1</sup>, 宮野直子<sup>\*1</sup>, 宮内留美<sup>\*2</sup>, 糺川日出男<sup>\*2</sup>, 増田ゆり<sup>\*2</sup>, 伊佐間和郎, 五十嵐良明, 鹿庭正昭: 抗菌加工剤の安全性評価(22)―大阪府における抗菌製品の市場実態調査(1991～1999)―

第37回全国衛生化学技術協議会年会 (2000.10)

<sup>\*1</sup>大阪府立公衆衛生研究所

<sup>\*2</sup>大阪府健康福祉部

鹿庭正昭, 五十嵐良明: プラスチック製めがね部品によるアレルギー性接触皮膚炎の原因究明: 染料アレルギー C. I. Solvent Orange 60 及び C.I.Solvent Red 179

第25回日本接触皮膚炎学会 (2000.12)

鹿庭正昭, 五十嵐良明: 抗菌剤・抗菌製品の使用実態と健康被害事例

第25回日本接触皮膚炎学会 (2000.12)

秋元留理<sup>\*1</sup>, 三嶋絵美<sup>\*1</sup>, 知念多恵子<sup>\*1</sup>, 阿部典子<sup>\*1</sup>, 鷺崎久美子<sup>\*1</sup>, 関東裕美<sup>\*1</sup>, 伊藤正俊<sup>\*1</sup>, 鹿庭正昭: ゴム膝ベルトによる接触皮膚炎の1例

第25回日本接触皮膚炎学会 (2000.12)

<sup>\*1</sup>東邦大学医学部大森病院皮膚科

角田孝彦<sup>\*1</sup>, 鹿庭正昭: めがねの先セル・フレームの染料による接触皮膚炎の1例

第25回日本接触皮膚炎学会 (2000.12)

<sup>\*1</sup>山形市立病院済生館皮膚科

鹿庭正昭: ワークショップ4「接触皮膚炎: 化学物質を中心に」: 2c. アレルゲン解明の実際―ゴム製品―

第13回日本アレルギー学会春季臨床大会 (2001.5)

中出伸一<sup>\*1</sup>, 鹿庭正昭, 池田尚之<sup>\*2</sup>, 宮本芳明<sup>\*3</sup>, 金丸英次<sup>\*4</sup>, 神原昭夫<sup>\*5</sup>, 志野木達也<sup>\*6</sup>, 対馬恭吾<sup>\*7</sup>, 戸井裕典<sup>\*8</sup>, 富樫博靖<sup>\*9</sup>, 林 正治<sup>\*9</sup>: ラテックス製品溶出蛋白質レベルと被患者のアレルギー反応性

2001年日本ゴム協会年次大会 (2001.5)

<sup>\*1</sup>ラテックスアレルギーフォーラム

<sup>\*2</sup>三興化学工業

<sup>\*3</sup>住友ゴム工業

<sup>\*4</sup>不二ラテックス

<sup>\*5</sup>ダンロップホームプロダクツ

<sup>\*6</sup>ジェクス

<sup>\*7</sup>オカモト

<sup>\*8</sup>エステー化学

<sup>\*9</sup>花王

中出伸一<sup>\*1</sup>, 鹿庭正昭, 池田尚之<sup>\*2</sup>, 宮本芳明<sup>\*3</sup>, 金丸英次<sup>\*4</sup>, 神原昭夫<sup>\*5</sup>, 志野木達也<sup>\*6</sup>, 対馬恭吾<sup>\*7</sup>, 戸井裕典<sup>\*8</sup>, 富樫博靖<sup>\*9</sup>: 市販ラテックス製品の溶出蛋白質レベル調査結果

2001年日本ゴム協会年次大会 (2001.5)

<sup>\*1</sup>ラテックスアレルギーフォーラム

<sup>\*2</sup>三興化学工業

<sup>\*3</sup>住友ゴム工業

<sup>\*4</sup>不二ラテックス

<sup>\*5</sup>ダンロップホームプロダクツ

<sup>\*6</sup>ジェクス

<sup>\*7</sup>オカモト

<sup>\*8</sup>エステー化学

<sup>\*9</sup>花王

五十嵐良明, 鎌田栄一, 鹿庭正昭, 中村晃忠: ホルムアルデヒドの吸入暴露によるマウスの化学物質に対するアレルギー反応性の増強

第27回日本トキシコロジー学術年会 (2000.6)

金澤由基子<sup>\*</sup>, 松田 洋<sup>\*</sup>, 松岡千明<sup>\*</sup>, 五十嵐良明, 鹿庭正昭, 小島幸一<sup>\*</sup>, 田中憲徳<sup>\*</sup>: 医用材料の安全性評価のための感作性試験における試験条件の比較検討

第27回日本トキシコロジー学術年会 (2000.6)

<sup>\*</sup>財食品薬品安全センター秦野研究所

五十嵐良明, 鹿庭正昭: 人工皮革中の抗菌剤 10,10'-oxybis-10H-phenoxarsine の分析

第37回全国衛生化学技術協議会年会 (2000.10)

米鴻斌<sup>\*</sup>, 平本一幸<sup>\*</sup>, 五十嵐良明, 菊川清見<sup>\*</sup>: 接触性皮膚炎に対するNO<sub>2</sub>暴露及び食品中のVEの影響

フォーラム2000: 衛生薬学・環境トキシコロジー (2000.10)

<sup>\*</sup>東京薬科大学

伊佐間和郎, 土屋利江: PLLAの Maus及びヒト骨芽細胞の分化過程に及ぼす影響の差異

日本バイオマテリアル学会シンポジウム 2000 (2000.11)

中岡竜介, 土屋利江: 微粒子状物質のヒト骨芽細胞機能への影響に関する研究: 細胞間連絡機能と骨分化に対する影響

日本バイオマテリアル学会シンポジウム 2000 (2000.11)

中岡竜介, 土屋利江: 細胞間連絡機能を指標とした材料の生体融和性評価: 微粒子状物質による骨分化機能との関連性について

生体融和材料シンポジウム (2001.2)

佐藤道夫: 世界のインプラント・データシステム

第15回日本眼内レンズ屈折手術学会 (2000.6)

佐藤道夫: イントラネット医療用具関連データベースの作成

第37回全国衛生化学技術協議会年会 (2000.10)

林 謙: FUMI理論による精度予測

第40回日本臨床化学会年会 (2000.10)

新谷英晴: 医療用具に使用されるポリウレタンの生体適合性

インド生体材料人工臓器学会 (2000.12)

新谷英晴: 無菌性保証に使用される生育培地性能ならびに生物指標の性能のばらつきの原因について

PDA年次大会 (2001.2)

新谷英晴：医療用具への各種滅菌に拠る素材分解と品質保証の確保

第16回GMPとバリデーションをめぐる諸問題に関するシンポジウム(2001.3)

新谷英晴：滅菌保証と品質保証の同時確保の困難さについて—各種滅菌に拠る人工透析器からのビスフェノールA、ステレンオリゴマーならびにシクロステレンオリゴマーの生成ならびに溶出について

第28回防菌防黴学会(2001.5)

新谷英晴：滅菌保証と品質保証の同時確保の困難さについて—各種滅菌に拠る人工透析器ポッティング剤からの毒性化合物メチレンジアニリンの生成ならびに溶出について

第28回防菌防黴学会(2001.5)

豊田正武：食品中有害物質等の分析並びに摂取量評価に関する衛生化学的研究

日本食品衛生学会第81回学術講演会(2001.5)

佐々木久美子：食品中の残留農薬分析法の精度評価に関する研究

日本食品衛生学会第81回学術講演会(2001.5)

根本了, 高附巧, 佐々木久美子, 今中雅章<sup>\*1</sup>, 村上恵美子<sup>\*2</sup>, 植田英一<sup>\*2</sup>, 豊田正武:食品中のビスフェノールAの分析法の検討

日本食品衛生学会第80回学術講演会(2000.11)

<sup>\*1</sup>岡山県環境保健センター

<sup>\*2</sup>北九州市環境科学研究所

根本了, 佐々木久美子, 豊田正武:食品中の2,4,6-トリ tert-ブチルフェノール及び関連化合物の分析

日本食品衛生学会第81回学術講演会(2001.5)

高附巧, 佐々木久美子, 豊田正武:米・穀類中のアシベンゾラル-S-メチル及び分解物アシベンゾラル酸の分析法の検討

第37回全国衛生化学技術協議会年会(2000.10)

Tsutsumi, T., Iida, T.<sup>\*1</sup>, Hori, T.<sup>\*1</sup>, Yanagi, T.<sup>\*2</sup>, Kono, Y.<sup>\*2</sup>, Uchibe, H.<sup>\*2</sup>, Toyoda, M.: Levels of PCDDs, PCDFs and Co-PCBs in fresh and cooked leafy vegetables in Japan

20th International Symposium on Halogenated Environmental Organic Pollutants & POPS(2000.8)

<sup>\*1</sup>Fukuoka Institute of Health and Environmental Sciences

<sup>\*2</sup>Japan Food Research Laboratories

五十嵐敦子, 松田りえ子, 豊田正武:食品汚染物モニタリング調査結果の新規データベース化について

第37回全国衛生科学技術協議会年会(2000.10)

林 讓, 松田りえ子, 岩木和夫\*, 大羽 宏\*, 勝峰万里\*, 小澤さやか\*: FUMI理論を用いたGC/HRMSによるダイオキシン類の検出下限の予測

第9回環境化学討論会(2000.6)

\*荏原製作所

Hayashi, Y., Matsuda, R., Katsumine, M.<sup>\*</sup>, Iwaki, K.<sup>\*</sup>, Tagashira, Y., Yomota, C.: Comparison of approaches to confidence intervals of linear calibration

220th ACS National Meeting(2000.8)

松田りえ子, 林 讓, 豊田正武: LC/MSの測定精度

第11回クロマトグラフィー科学会議(2000.10)

小谷 明\*, 林 讓, 松田りえ子, 楠 文代\*: FUMI理論による電気化学検出HPLCの精度予測

第46回ポーラログラフイおよび電気化学討論会(2000.12)

\*東京薬科大学

松田りえ子: FUMI理論による機器分析の測定精度の予測

日本農薬学会第26回大会(2001.3)

浦田真軌<sup>\*1</sup>, 牛山慶子<sup>\*1</sup>, 井草京子<sup>\*1</sup>, 宮崎奉之<sup>\*1</sup>, 堀江正一<sup>\*2</sup>, 村山三徳, 豊田正武: HPLCによる鶏組織中, 抗コキシウム剤, シクラズリル, ナイカルバジンの簡易同時分析法

日本食品衛生学会第80回学術講演会(2000.11)

<sup>\*1</sup>東京都立衛生研究所

<sup>\*2</sup>埼玉県衛生研究所

村山三徳, 豊田正武, 宮崎奉之<sup>\*1</sup>, 堀江正一<sup>\*2</sup>: 畜産物中のトリクラベンダゾールの分析

日本食品衛生学会第80回学術講演会(2000.11)

<sup>\*1</sup>東京都立衛生研究所

<sup>\*2</sup>埼玉県衛生研究所

近藤一成, 栗原正明, 宮田直樹, 鈴木 隆, 豊田正武: カテキンの抗酸化作用におけるC-2位プロトンの重要性

第22回磁気共鳴医学会, 第4回SFRR JAPAN合同学会

(2000.6)

Kondo, K., Uchida, R., Tokutake, S., Suzuki, T., Toyoda, M.: Production of nitric oxide by proanthocyanidin extracted from grape seed in mast cell line RBL-2H3

10th the International Society for Free Radical Research(2000.10)

近藤一成, 内田理一郎, 徳武昌一, 豊田正武: ブドウ種子由来プロアントシアニン高分子画分の抗アレルギー活性

第80回日本食品衛生学会(2000.11)

近藤一成, 内田理一郎, 徳武昌一, 豊田正武: ブドウ種子由来プロシアニン高分子画分のRBL-2H3細胞からの脱顆粒抑制作用について

日本薬学会第121年会(2001.3)

Sakushima, J., Okunuki, H., Akiyama, H., Goda, Y., Toyoda, M., Teshima, R., Sawada, J.: Examination of active systemic anaphylaxis in oral immunized-mast cell deficient mice

18th International Congress of Biochemistry and Molecular Biology(2000.7)

Morimoto, T\*, Yamada, M\*, Nakamura, M\*, Goda, Y.: **Analysis of subsidiary colors in Tartrazine**

The 114th AOAC International annual meeting (2000.9)

\* San-Ei Gen FFI. Inc.

合田幸広：遺伝子組換え食品の検知について

第37回全国衛生化学技術協議会年会 (2000.10)

合田幸広, 柿原芳輝, 佐々木真紀子, 穂山 浩, 松岡 猛\*, 日野明寛\*, 豊田正武: トウモロコシ穀粒からの組換え遺伝子検知について

第37回全国衛生化学技術協議会年会 (2000.10)

\*農水省食品総合研究所

佐久嶋順一郎, 松浪優哉, 穂山 浩, 合田幸広, 庄司俊彦\*, 中川圭一\*, 古庄義明\*, 豊田正武: リンゴ未熟果由来プロシアニジンの抗アレルギー活性—その重合度とタンパク結合性—

日本食品衛生学会第80回学術講演会 (2000.11)

\*ニッカウキスキー(株)生産技術研究所

\*ジーエルサイエンス

合田幸広：遺伝子組換え食品の検知について

日本食品衛生学会特別シンポジウム (2000.11)

寺原典彦\*, 合田幸広: 紫甘藷マイナーアントシアニンについて

日本農芸化学会2000年西日本支部会 (2000.11)

\*南九州大学園芸学部

Hino, A\*, Matsuoka T\*, Kuribara, H\*, Goda, Y., Toyoda, M.: **Labeling in Japan and detection methods for GM-Foods**

Joint workshop on method developments in relation to regulatory requirements concerning GMOs in the food chain (2000.12)

\* National Food Research Institute, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries

佐久嶋順一郎, 松浪優哉, 穂山 浩, 庄司俊彦\*, 古庄義明\*, 神田智正\*, 中川圭一\*, 合田幸広, 豊田正武: リンゴ未熟果由来プロシアニジンの抗アレルギー活性の解析

日本薬学会第121年会 (2001.3)

\*ニッカウキスキー(株)生産技術研究所

\*ジーエルサイエンス

合田幸広, 浅野卓哉, 青柳有美, 穂山 浩, 松岡 猛\*, 日野明寛\*, 豊田正武: 輸入トウモロコシ試料の組換え品種別含量について

日本薬学会第121年会 (2001.3)

\*農水省食品総合研究所

庄司俊彦\*, 六鹿元雄, 神田智正\*, 柳田顕郎\*, 中川圭一\*, 佐久嶋順一郎, 穂山浩, 合田幸広, 豊田正武: リンゴ中のプロシアニジン成分の構造解析

日本薬学会第121年会 (2001.3)

\*ニッカウキスキー(株)生産技術研究所

六鹿元雄, 坂野勇一\*, 菅沼大行\*, 猪熊隆博\*, 合田幸広, 渋谷雅明\*, 海老塚豊\*, 豊田正武: サトイモ中に含まれるヒト由来ラノステロール合成酵素阻害成分の検討

日本薬学会第121年会 (2001.3)

\*1 東京大学大学院薬学系研究科

\*2 カゴメ(株)総合研究所

日野明寛\*, 松岡 猛\*, 栗原秀夫\*, 合田幸広, 豊田正武, 進藤洋一郎\*, 吉村倫彰\*, 小川真智子\*, 布藤 聡\*: 遺伝子組換え農作物の新しい定量分析法の開発

日本農芸化学会2001年大会 (2001.3)

\*1 農水省食品総合研究所

\*2 アサヒビール(株)研究開発本部

\*3 日本製粉(株)中央研究所

庄司俊彦\*, 柳田顕郎\*, 神田智正\*, 合田幸広, 中川圭一\*: 果実酒中のアントシアニン色素の構造 MALDI-TOF-MASS による解析

日本農芸化学会2001年大会 (2001.3)

\*ニッカウキスキー(株)生産技術研究所

寺原典彦\*, 服部健太郎\*, 合田幸広: 紫甘藷中のアシル化アントシアニンの構造と抗酸化性

日本農芸化学会2001年大会 (2001.3)

\*南九州大学園芸学部

Ngang, E.\*, Matsufuji, H.\*, Chino, M.\*, Goda, Y., Toyoda, M., Takeda, M.\*: **Structural determination of subsidiary color in commercial food green No.3 (Fast Green FCF, FD&D Green No.3)**

11th World Congress of Food Sciences and Technology (2001.4)

\* College of Bioresource Science, Nihon University

松岡 猛\*, 栗原秀夫\*, 日野明寛\*, 合田幸広, 豊田正武, 進藤洋一郎\*, 吉村倫彰\*, 小川真智子\*, 布藤 聡\*: 遺伝子組換え農作物の新しい定量分析法の開発

日本食品衛生学会第81回学術講演会 (2001.5)

\*1 農水省食品総合研究所

\*2 アサヒビール(株)研究開発本部

\*3 日本製粉(株)中央研究所

六鹿元雄, 太田久恵, 合田幸広, 豊田正武: 遺伝子組換え・非組換えパパイアの色素成分の比較

日本食品衛生学会第81回学術講演会 (2001.5)

宮原 誠, 豊田正武, 斉藤顕子, 上村智美, 長沢妙子: 炭化水素法による照射食品の検知 1 ガンマ線照射による各種脂肪酸エステルからの炭化水素の生成

食品衛生学会第80回学術講演会 (2000.11)

宮原 誠: これからの照射食品

防菌防黴学会第27回年次大会 (2000.5)

安藤正典: 室内空气中化学物質のサンプリング方法及び測定方法

第4回分析化学東京シンポジウム (2000.8)

安藤正典：室内化学物質の分析  
フォーラム2000, 衛生薬学・環境トキシコロジー (2000.10)

安藤正典：室内空气中化学物質のサンプリング方法及び測定方法  
第37回全国衛生化学技術協議会 (2000.11)

安藤正典：室内空气中化学物質のガイドライン設定について  
第37回全国衛生化学技術協議会 (2000.11)

星野邦広\*, 今中努志\*, 松村年郎: チャンバー法による室内  
内装材から発生する有機化合物の測定と評価  
第19回空気清浄とコンタミネーションコントロール研究大  
会 (2001.4)  
\*ジーエルサイエンス(株)

松村年郎, 濱田実香, 並木 崇\*: 室内空气中のフタル酸エ  
ステル類の測定法の検討とそのアプリケーションについて  
平成12年度室内環境学会総会講演集 (2000.12)  
\*日本大学理工学部

今中努志\*, 星野邦広\*, 松村年郎: 室内建材発生ガスのオン  
ライン分析装置の検討(2)  
平成12年度室内環境学会総会講演集 (2000.12)  
\*ジーエルサイエンス(株)

渡辺文雄\*, 松延邦明\*, 松村年郎: 室内環境中の簡易測定に  
おける検知管法の展開と校正ガス発生法の検討について  
平成12年度室内環境学会総会講演集 (2000.12)  
\*ガステック(株)

濱田実香, 松村年郎: ペンタフルオロベンジルヒドロキシル  
アミン(PFBOA)カートリッジ捕集HPLC法を用いた室内空气中  
のアルデヒド類の測定法の検討  
平成12年度室内環境学会総会講演集 (2000.12)

大塚健次, 松村年郎, 濱田実香: 居住環境内における化学物  
質汚染の実態  
平成12年度室内環境学会総会講演集 (2000.12)

松村年郎: 「シックハウス」その今日の問題と今後の対策  
室内環境学会・健康事業総合財団セミナー (2000.10)

徳永裕司, 鄭 然孫, 内野 正, 安藤正典: フタル酸ジエチ  
ルの In vitro 経皮吸収に関する研究  
第46回日本化粧品技術者会研究討論会 (2000.6)

徳永裕司, 高 玲華, Chandra Skaran, N. Sharaim, A.  
Chowdhury, UR. Chakraborti, D\*. 安藤正典: HPLC-ICP/MSに  
よるヒト尿中のヒ素化合物の形態分析に関する研究  
フォーラム2000: 衛生薬学・環境トキシコロジー (2000.10)  
\* Jadavpur University

徳永裕司, 鄭 然孫, 内野 正, 安藤正典: フタル酸ジエチ  
ルの In vitro 経皮吸収に関する研究

第37回全国衛生化学技術協議会年会 (2000.10)

Tokunaga, H. Ko, R. Chong, Y. Uchino, T. Ando, M.: A simple in-  
vitro evaluation of immunotoxicity for cosmetic ingredients  
5th Scientific Conference of the Asian Societies of Cosmetic Sci-  
entists (2001.3)

徳永裕司, 鄭 然孫, 内野 正, 安藤正典: 化粧品中の防腐  
剤の経皮吸収に関する研究  
日本薬学会第121年会 (2001.3)

内野 正, 徳永裕司, 安藤正典: 化粧水及び乳液中のビタミ  
ンL1及び塩酸ピロカルピンの高速液体クロマトグラフィー  
による定量  
第47回SCCJ研究討論会 (2000.11)

内野 正, 徳永裕司, 安藤正典: 表示指定成分のヒトケラチ  
ノサイト(A431)からのサイトカイン放出への影響  
日本薬学会第121年会 (2001.3)

埴岡伸光, 神野透人, 香川(田中)聡子, 西村哲治, 安藤正典:  
HPLCによるCYP1A依存性酵素活性測定法の開発  
第15回日本薬物動態学会年会 (2000.10)

埴岡伸光, 渡部佳世子\*, 神野透人, 香川(田中)聡子, 西村  
哲治, 与田玲子\*, 安藤正典: ラット肝シクロクロムP450に対  
するアラクロールの影響  
日本薬学会第121年会 (2001.3)  
\* 国立薬科大学

神野透人, 埴岡伸光, 香川(田中)聡子, 西村哲治, 安藤正典:  
ラット肝による二酸化塩素処理Microcystin類の生物評価  
第6回バイオアッセイ研究会・日本環境毒性学会合同研究  
発表会 (2000.9)

香川(田中)聡子, 神野透人, 埴岡伸光, 安藤正典: ヒト表皮  
角化細胞の遺伝子発現に及ぼす無機ヒ素化合物の影響  
フォーラム2000: 衛生化学・環境トキシコロジー (2000.10)

神野透人, 埴岡伸光, 香川(田中)聡子, 佐伯真弓, 西村哲治,  
長野美千代, 斎藤喜朗, 小澤正吾, 安藤正典, 澤田純一: COS-  
1細胞で発現させた変異型ヒトUGT1A1のGSN-38グルクロン  
酸抱合活性  
日本薬学会第121年会 (2001.3)

西村哲治, 埴岡伸光, 神野透人, 香川(田中)聡子, 安藤正典,  
平川江美\*1, 鈴木和人\*1, 西川淳一\*2, 西原 力\*2: 酵母Two-  
Hybrid Systemによる水質汚染物質のエストロゲン様活性の  
評価  
第34回日本水環境学会年会 (2000.3)  
\*1 東京医薬専門学校  
\*2 大阪大学大学院薬学研究所

西村哲治, 平川江美\*1, 埴岡伸光, 神野透人, 香川(田中)聡  
子, 鈴木和人\*1, 西川淳一\*2, 西原 力\*2, 安藤正典: 水質汚  
濁性化学物質のエストロゲン様活性の検討

## 第51回全国水道研究発表会 (2000.5)

\*1 東京医薬専門学校

\*2 大阪大学大学院薬学研究科

西村哲治, 埴岡伸光, 神野透人, 香川(田中)聡子, 安藤正典:  
遺伝子発現を利用した評価試験

第3回日本水環境学会シンポジウム (2000.9)

西村哲治, 高木博夫\*1, 中川順一\*2, 加藤信弥\*3, 宇田川富男\*4, 寺内 修\*5, 鈴木 朗\*6, 寺嶋勝彦\*7, 中野康晴\*8, 中野淑雄\*9, 安藤正典: 上水試験方法2001年版の改訂について(Ⅲ)-6農薬(ベンゾエピン, マラソン, アラクロール, トリフルラリン, カルバリル, メソミル)の測定方法の検討-  
第52回全国水道研究発表会 (2001.5)

\*1 国立環境研究所

\*2 東京都立衛生研究所

\*3 仙台市水道局

\*4 東京都水道局

\*5 千葉県水道局

\*6 横浜市水道局

\*7 大阪市水道局

\*8 大阪府水道局

\*9 福岡地区水道企業団

Miyahara, M., Saito, A., Ito, H., Toyoda, M.: **Capability for detection of gamma-irradiation of bovine liver by high sensitivity comet assay**

AOAC International, the 114th AOAC International Annual Meeting and Exposition (2000.9)

宮原 誠, 上野浩二, 山瀬 豊, 伊藤 均, 豊田正武: 電子線を用いる食品照射における線量測定 基礎的検討

日本食品照射研究協議会第36回大会 (2000.12)

Miyahara, M., Saito, A., Ito, H., Toyoda, M.: **Identification of Low level gamma-irradiation of Meats by New High Sensitivity Comet Assay**

The 12th International Meeting on Ionization Processing, IAEA, AIII (2001)

穂山 浩, 天野博雄\*1, 合田幸広, 豊田正武, Bienenstock J.\*2:  
ラット気管上皮粘膜の電気生理学的パラメーターにおける  
ストレスの影響

日本薬学会121年会 (2001.3)

\*1 群馬大学医学部

\*2 McMaster university

古庄義明\*1, 山本勝彦\*2, 佐久嶋順一郎, 穂山 浩, 合田幸広, 豊田正武, 庄司俊彦\*3, 神田智正\*3, 中川圭一\*3: **High Throughput SPE/LC/MS/MS法によるマウス血漿中 Pro-cyanidin B2の測定**

日本薬学会121年会 (2001.3)

\*1 ジーエルサイエンス(株)

\*2 A Bシステムズ(株)

\*3 ニッカウキスキー(株)

穂山 浩, 合田幸広, 田中敏嗣\*1, 豊田正武: **多機能カラムを用いた香辛料中のアフラトキシンの迅速定量法**

日本食品衛生学会第81回学術講演会 (2001.5)

\*1 神戸市環境保健研究所

福田 崇\*1, 小柳美喜子\*1, 香田隆俊\*2, 米谷民雄, 小関良宏\*1: 植物における可動性因子の形質転換に与える効果

日本植物生理学会第41回シンポジウム (2001.3)

\*1 東京農工大学工学部

\*2 三栄源エフ・エフ・アイ(株)

杉本直樹, 尹 永淑, 関田節子, 佐竹元吉, 米谷民雄: **たばこの成分研究(5)**

日本薬学会第121年会 (2001.3)

秋山卓美, 齊藤祐一, 米谷民雄: **食品添加物として用いられる糖質関連酵素の特性**

日本食品衛生学会第81回学術講演会 (2001.5)

長岡(浜野)恵, 米谷民雄: **シアル酸欠損トランスフェリンの金属(Al, Fe)結合能の解析**

第11回金属の関与する生体関連反応シンポジウム (2001.5)

山崎 壮: **プリオン感染と検出法**

日本薬学会第121年会 (2001.3)

Ishiwata, H., Abe, Y.: **Simultaneous determination of hexamethylenetetramine and formaldehyde in cheese by post column HPLC**

The 114th AOAC International Annual Meeting (2000.9)

新野竜太\*1, 石橋 亨\*1, 伊藤 武\*1, 坂井千三\*1, 小野寺祐夫\*2, 杉田たき子, 石綿 肇: **フタル酸ジエステルのPVC製乳幼児用玩具からヒト唾液への溶出とそのモノエステル体の生成**

日本薬学会フォーラム 2000 (2000.10)

\*1 (財)東京顕微鏡院

\*2 東京理科大学

石綿 肇: **食品添加物の摂取量調査**

第37回全国衛生化学技術協議会年会 (2000.10)

水野竹美\*, 金子旬一\*, 石橋 亨\*, 伊藤 武\*, 坂井千三\*, 石綿 肇: **ケイ光検出器付HPLC法による硝酸塩・亜硝酸塩の分析法**

日本食品衛生学会第80回学術講演会 (2000.10)

\* (財)東京顕微鏡院

新野竜太\*1, 朝倉敬行\*1, 加藤文秋\*1, 石橋 亨\*1, 伊藤 武\*1, 坂井千三\*1, 小野寺祐夫\*2, 杉田たき子, 石綿 肇: **回転振とう抽出法によるPVC製乳幼児玩具から人工唾液へのフタル酸エステルの溶出**

日本食品衛生学会第80回学術講演会 (2000.10)

\*1 (財)東京顕微鏡院

\*2 東京理科大学

新野竜太\*1, 朝倉敬行\*1, 加藤文秋\*1, 石橋 亨\*1, 伊藤 武

\*<sup>1</sup>, 坂井千三\*<sup>1</sup>, 小野寺祐夫\*<sup>2</sup>, 杉田たき子, 石綿 肇: ヒトのchewingによるPVC製乳幼児玩具から唾液へのフタル酸エステルの溶出

日本食品衛生学会第80回学術講演会 (2000.10)

\*<sup>1</sup> 助東京顕微鏡院

\*<sup>2</sup> 東京理科大学

松野伸広\*, 加藤文秋\*, 石橋 亨\*, 伊藤 武\*, 坂井千三\*, 川崎洋子, 石綿 肇: 食品中の安息香酸, ソルビン酸, デヒドロ酢酸, 及びサリチル酸の簡易一斉分析法の検討

日本食品衛生学会第81回学術講演会 (2001.5)

\* 助東京顕微鏡院

河村葉子, 和久井千世子, 岸香織, 米谷民雄: 各種使い捨て手袋からの溶出物に関する検討

フォーラム2000: 衛生薬学・環境トキシコロジー (2000.10)

Kawamura, Y.: A Simple Determination method for residual chemicals in food contact plastics and their survey in Japan  
2nd International Symposium on Food Packaging (2000.11)

Kawamura, Y.: Endocrine disruptors in food containers and packages  
KFDA/NITR International Symposium on EDs & GM Food 2000 (2000.12)

河村葉子: 食品用器具・容器包装中の内分泌かく乱化学物質  
The 45th International NIBB Conference (2001.3)

和久井千世子, 河村葉子, 米谷民雄: 非フタル酸エステル系ポリ塩化ビニル及びニトリルゴム製手袋の溶出物に関する検討

日本食品衛生学会第81回学術講演会 (2001.5)

宮田直樹: フラーレンの化学-生体作用機構の解析-  
有機合成化学講演会 合成有機化学のフロンティア(2000.6)

福原 潔, 宮田直樹: 化学物質による活性酸素の生成と消去  
日本環境変異原学会第11回公開シンポジウム (2000.6)

栗原正明, 近藤一成, 鈴木 隆, 豊田正武, 宮田直樹: カテキンの抗酸化作用機構: 半経験的分子軌道法による解析  
第22回磁気共鳴医学会・第4回SFRR Japan合同学会 (2000.6)

福原 潔, 栗原正明, 宮田直樹: 光活性型NOドナーの開発-芳香族ニトロ化合物からのNOの生成-  
第22回磁気共鳴医学会・第4回SFRR Japan合同学会 (2000.6)

Nakanishi, I., Yamakoshi, Y., Ohkubo, K.<sup>\*1</sup>, Fujita<sup>\*1</sup>, P, S., Fujitsuka, M.<sup>\*2</sup>, Ito, O.<sup>\*2</sup>, Fukuzumi, S.<sup>\*1</sup> and Miyata, N.: Electron-Transfer Properties of Fullerenes in the Presence of Oxygen  
The 19th Fullerene General Symposium (2000.7)

\*<sup>1</sup> 阪大院・工

\*<sup>2</sup> 東北大・反応研

栗原正明, 田中正一\*<sup>1</sup>, 大庭 誠\*<sup>1</sup>, 末宗 洋\*<sup>1</sup>, 宮田直樹: 分子力学法によるペプチドのコンフォメーション解析:  $\alpha$ ,  $\alpha$ -ジ置換アミノ酸より構成されるペプチド  
CBI ミレニアムシンポジウム2000年大会 (2000.7)

\*<sup>1</sup> 九大院薬

Kurihara, M., Tanaka, M.<sup>\*1</sup>, Oba, M.<sup>\*1</sup>, Suemune, H.<sup>\*1</sup>, Miyata, N.: Computational study on conformation of Oligopeptides prepared from  $\alpha$ ,  $\alpha$ -disubstituted amino acids  
26th European Peptide Symposium (2000.9)

\*<sup>1</sup> Kyusyu University

Tanaka, M.<sup>\*1</sup>, Imawaka, N.<sup>\*1</sup>, Oba, M.<sup>\*1</sup>, Kurihara, M., Suemune, H.<sup>\*1</sup>: Conformational Study of Peptides Containing  $\alpha$ -Ethylated  $\alpha$ ,  $\alpha$ -Disubstituted Amino Acid: (s)-Buthylethylglycine.  
26th European Peptide Symposium (2000.9)

\*<sup>1</sup> Kyusyu University

Miyata, N., Nakanishi, I., Yamakoshi, Y., Ohkubo, K.<sup>\*1</sup> and Fukuzumi, S.<sup>\*1</sup>: Direct observation of the ESR spectrum of superoxide anion in an aqueous C<sub>60</sub>/PVP/NADH/O<sub>2</sub> system under irradiation.

Xth Biennial Meeting of the International Society for Free Radical Research (2000.10)

\*<sup>1</sup> Osaka University

Fukuhara, K., Kurihara, M., and Miyata N.: Nitric oxide generation from 6-nitrobenzo[a]pyrene and its DNA-cleaving activity under photoirradiation.

Xth Biennial Meeting of the International Society for Free Radical Research (2000.10)

中西郁夫, 山越葉子, 福原 潔, 宮田直樹: 還元剤存在下における光増感DNA切断に関与する酸化活性種の解析  
第15回生体フリーラジカル研究会 (2000.11)

栗原正明, 志茂雅敏, 梶谷亜沙子, 篠原秀美, 寒水壽朗, 宮田直樹: L-696, 474のHIVプロテアーゼ阻害機構に基づいた新規阻害薬の設計と合成  
第26回反応と合成の進歩シンポジウム (2000.11)

福原 潔, 永川真希, 宮田直樹: レスベラトロールによる酸化的DNA鎖切断反応の分子メカニズムの化学的解析  
日本環境変異原学会第29回大会 (2000.11)

高山浩明\*<sup>1</sup>, 紺野勝弘\*<sup>1</sup>, 藤島利江\*<sup>1</sup>, 牧昌次郎\*<sup>1</sup>, 劉 兆鵬\*<sup>1</sup>, 三浦大志郎\*<sup>1</sup>, 一寸木学\*<sup>2</sup>, 石塚誠一\*<sup>2</sup>, 山口健太郎\*<sup>3</sup>, 管由紀子\*<sup>4</sup>, 栗原正明, 宮田直樹, C. Smith\*<sup>5</sup>, H. F. DeLuca\*<sup>5</sup>, 中川公恵\*<sup>6</sup>, 岡野登志夫\*<sup>6</sup>: 2-Methyl-1,25-dihydroxyvitamin D<sub>3</sub>とその20-epimerの合成, 立体配座解析, 及び活性評価~ビタミンD研究の新展開~

第20回メディシナルケミストリーシンポジウム, 第9回日本薬学会医薬化学部会年会 (2000.12)

\*<sup>1</sup> 帝京大薬,

\*<sup>2</sup> 帝人生物医学総研

\*3 千葉大分析センター

\*4 サントリー生有研

\*5 ウィスコンシン大

\*6 神戸薬大

須原義智\*<sup>1</sup>, 橘高敦史\*<sup>1</sup>, 高柳 仁\*<sup>1</sup>, 藤島利江\*<sup>1</sup>, 紺野勝弘\*<sup>1</sup>, 高山浩明\*<sup>1</sup>, 中川公恵\*<sup>2</sup>, 岡野登志夫\*<sup>2</sup>, 栗原正明, 宮田直樹: 2- $\alpha$ -置換型-1 $\alpha$ , 25-Dihydroxyvitamin D<sub>3</sub> 誘導体の合成と生物活性評価~構造活性相関及びビタミンD受容体とのドッキングスタディ~  
第20回メディスナルケミストリーシンポジウム, 第9回日本薬学会医薬化学部会年会 (2000.12)

\*<sup>1</sup> 帝京大薬

\*<sup>2</sup> 神戸薬大

藤島利江\*<sup>1</sup>, 紺野勝弘\*<sup>1</sup>, 高山浩明\*<sup>1</sup>, 中川公恵\*<sup>2</sup>, 田中麻紀\*<sup>2</sup>, 岡野登志夫\*<sup>2</sup>, 栗原正明, 宮田直樹: 2-メチル置換活性型ビタミンD<sub>3</sub>の5, 6-トランス幾何異性体の合成~活性相関およびビタミンD受容体へのドッキングスタディ~  
第20回メディスナルケミストリーシンポジウム, 第9回日本薬学会医薬化学部会年会 (2000.12)

\*<sup>1</sup> 帝京大薬

\*<sup>2</sup> 神戸薬大

Miyata, N.: **Superoxide Generation in Active Oxygen Species Generated from Photoexcited Fullerene in an Aqueous Media**  
2000 International Chemical Congress of Pacific Basin Societies (2000.12)

Nakanishi I., Yamakoshi, Y., Ohkubo, K.\*<sup>1</sup>, Fukuzumi, S.\*<sup>1</sup> and Miyata, N.: **Superoxide Generation in C<sub>60</sub>-photosensitized oxidation of NADH and analogs by Oxygen**  
2000 International Chemical Congress of Pacific Basin Societies (2000.12)

\*<sup>1</sup> Osaka University

Tanno, M., Sueyoshi, S., Fukuhara, K. and Miyata, N.: **Evaluation of extended-releasing NO ability of aromatic N-nitrosamines**  
2000 International Chemical Congress of Pacific Basin Societies (2000.12)

Sueyoshi, S., Tanno, M. and Miyata, N.: **NO generation of N-hydroxy-L-arginine analogs in oxidative conditions**  
2000 International Chemical Congress of Pacific Basin Societies (2000.12)

Miyata, N. and Nakanishi, I.: **Electron Transfer from Photochemically Reduced C<sub>60</sub> (gamma-Cyclodextrin-Bicapped C<sub>60</sub>) to Molecular Oxygen Causes DNA-Cleavage**  
The 4th Taiwan-Japan Cooperative Meeting of Fullerene Science and Technology (2000.12)

宮田直樹: わが国で承認された薬のデータベース化と海外の状況  
CBI学会第201回研究講演会 (2001.1)

Nakanishi, I., Konishi, T.\*<sup>1</sup>, Ohkubo, K.\*<sup>2</sup>, Fujitsuka, M.\*<sup>1</sup>, Ito, O.\*<sup>1</sup>, Fukuzumi, S.\*<sup>2</sup> and Miyata, N.: **Photoinduced Superoxide Generation and DNA Cleavage in the Aqueous C<sub>60</sub>/gamma-Cyclodextrin/NADH/O<sub>2</sub> System**

The 20th Fullerene General Symposium. (2001. 1)

\*<sup>1</sup> Tohoku University

\*<sup>2</sup> Osaka University

Yamakoshi, Y., Schlittler, R. R.\*<sup>1</sup>, Skinner, P. J.\*<sup>2</sup>, Gimzewski, J. K.\*<sup>1</sup>, Diederich, F.\*<sup>2</sup>: **Getting A Grip On A Single Molecule - Novel Cavitands as Mecanoreceptors: UK Macrocylic Conference (2001.1)**

\*<sup>1</sup> IBM Zürich Research Laboratory

\*<sup>2</sup> ETH-Zürich

Nakanishi, I., Konishi, T.\*<sup>1</sup>, Ohkubo, K.\*<sup>2</sup>, Fujitsuka, M.\*<sup>1</sup>, Ito, O.\*<sup>1</sup>, Fukuzumi, S.\*<sup>2</sup> and Miyata, N.: **DNA Cleavage via Electron Transfer from NADH to Molecular Oxygen Photosensitized by gamma-Cyclodextrin-Bicapped C<sub>60</sub>**  
The 199th Meeting of The Electrochemical Society, (2000.3)

\*<sup>1</sup> Tohoku University

\*<sup>2</sup> Osaka University

栗原正明, 志茂雅敏, 梶谷亜沙子, 篠原秀美, 寒水壽朗, 宮田直樹: サイトカラシン類L-696, 474のHIVプロテアーゼ阻害機構に基づいた新規阻害薬の設計と合成  
第121回日本薬学会年会 (2001.3)

丹野雅幸, 末吉祥子, 福原 潔, 中西郁夫, 宮田直樹: 活性酸素の生成を伴うNO遊離化合物の合成  
日本薬学会第121年会 (2001.3)

中西郁夫, 小西利史\*<sup>1</sup>, 大久保 敬\*<sup>2</sup>, 藤塚 守\*<sup>1</sup>, 伊藤 攻\*<sup>1</sup>, 福住俊一\*<sup>2</sup>: 光電子移動を経由する水溶性C60-シクロデキストリン錯体/NADH系におけるスーパーオキシドの生成機構

日本薬学会第121回年会 (2001.3)

\*<sup>1</sup> 東北大・反応研

\*<sup>2</sup> 阪大院・工

橘高敦史\*<sup>1</sup>, 平阪幸四郎\*<sup>1</sup>, 栗原正明, 須原義智\*<sup>1</sup>, 吉田彰宏\*<sup>1</sup>, 宮田直樹, 高山浩明\*<sup>1</sup>: 2- $\alpha$ -ベンジル-1 $\alpha$ , 25-ジヒドロキシビタミンD<sub>3</sub>の合成研究

第121回日本薬学会年会 (2001.3)

\*<sup>1</sup> 帝京大薬

橘高敦史\*<sup>1</sup>, 高柳 仁\*<sup>1</sup>, 須原義智\*<sup>1</sup>, 藤島利江\*<sup>1</sup>, 栗原正明, 高山浩明\*<sup>1</sup>: 2- $\alpha$ -(ヒドロキシアルコキシ)-1 $\alpha$ , 25-ジヒドロキシビタミンD<sub>3</sub>誘導体の合成とVDR結合活性の解析

第121回日本薬学会年会 (2001.3)

\*<sup>1</sup> 帝京大薬

藤島利江\*<sup>1</sup>, 紺野勝弘\*<sup>1</sup>, 中川公恵\*<sup>2</sup>, 田中麻紀\*<sup>2</sup>, 岡野登志夫\*<sup>2</sup>, 栗原正明, 宮田直樹, 高山浩明\*<sup>1</sup>: 2位メチル置換活性型ビタミンD<sub>3</sub>-5, 6-トランス幾何異性体の合成と生物活性: 2位メチル基による活性増強効果の解析

## 第121回日本薬学会年会(2001.3)

\*<sup>1</sup>帝京大薬\*<sup>2</sup>神戸薬大

大庭 誠\*<sup>1</sup>, 田中正一\*<sup>1</sup>, 栗原正明, 末宗 洋\*<sup>1</sup>: 光学活性ジ置換アミノ酸(S)-エチルロイシンを導入したペプチドの合成とそのコンフォメーション

第121回日本薬学会年会(2001.3)

\*<sup>1</sup>九大薬

藤島利江\*<sup>1</sup>, 紺野勝弘\*<sup>1</sup>, 中川公恵\*<sup>2</sup>, 田中麻紀\*<sup>2</sup>, 岡野登志夫\*<sup>2</sup>, 栗原正明, 宮田直樹, 高山浩明\*<sup>1</sup>: 2位メチル置換活性型ビタミンD<sub>3</sub>の幾何異性体の合成とその生理作用: 2位メチル基による活性増強効果の解析

日本ビタミン学会第53回大会(2001.5)

\*<sup>1</sup>帝京大・薬\*<sup>2</sup>神戸薬大

橋高敦史\*<sup>1</sup>, 須原義智\*<sup>1</sup>, 平阪幸四郎\*<sup>1</sup>, 藤島利江\*<sup>1</sup>, 吉田彰宏\*<sup>1</sup>, 栗原正明, 宮田直樹, 高山浩明\*<sup>1</sup>: 2 $\alpha$ , -ベンジル-1 $\alpha$ , 25-ジヒドロキシビタミンD<sub>3</sub>の合成とVDR結合活性

日本ビタミン学会第53回大会(2001.5)

\*<sup>1</sup>帝京大・薬

福原 潔, 内藤有紀, 佐藤由紀子, 中西郁夫, 宮田直樹: キノンによる活性酸素生成とDNA損傷反応

第24回磁気共鳴医学会・第5回SFRR Japan合同学会(2001.5)

Williams, D.B.\*<sup>1</sup>, Stronge, V.\*<sup>1</sup>, Ihara Y.\*<sup>1</sup>, Saito, Y.: Relationship between calnexin and Bip in the folding of proteins and glycoproteins in vitro

5th Biennial Meeting on Molecular Chaperones and the Heat Shock Response(2000.5)

\*<sup>1</sup>University of Toronto

Williams, D.B.\*<sup>1</sup>, Stronge, V.\*<sup>1</sup>, Ihara Y.\*<sup>1</sup>, Saito, Y.: In Vitro Characterization of ER Chaperones

Canadian Society of Biochemistry and Molecular &amp; Cellular Biology, 11th Winternational Conference(2001.2)

\*<sup>1</sup>University of Toronto

斎藤嘉朗, 井原義人\*, Leach, M.L.\*<sup>1</sup>, Cohen-Doyle, M.F.\*<sup>1</sup>, Williams, D.B.\*<sup>1</sup>: カルレティキュリンのin vitroシャペロン活性

第73回日本生化学会大会(2000.10)

\*<sup>1</sup>University of Toronto

中村亮介, 平嶋尚英\*, 中西 守\*: 原子間力顕微鏡によるマスト細胞抑制シグナルの研究

第73回日本生化学会大会(2000.10)

\*名古屋市立大学

中村亮介, 手島玲子, 澤田純一: マスト細胞のCa<sup>2+</sup>応答及び脱顆粒反応に及ぼすフタル酸エステル類の影響

第121回日本薬学会年会(2001.03)

高木加代子, 斎藤嘉朗, 澤田純一: 成長ホルモン結合蛋白の生成に及ぼす proteasome inhibitor の影響

第73回日本生化学会大会(2000.10)

奥貫 晴代, 手島 玲子, 澤田 純一: 転写レベルにおけるマスト細胞からのMCP-1産生制御機構について

第73回日本生化学会大会(2000.10)

Teshima, R., Onose, J., Saito, Y., Ikebuchi, H., Kitani, S.\*<sup>1</sup>, Sawada, J.: Casein kinase II-like ectokinase activity on RBL-2H3 cells

18th International Congress of Biochem. and Mol. Biology(2000.7)

\*<sup>1</sup>University of Tokyo

Okunuki, H., Teshima, R., Akiyama, H., Goda, Y., Toyoda, M., Sawada, J.: Determination of enzymatic activity of EPSPS by radio-HPLC

18th International Congress of Biochem. and Mol. Biology(2000.7)

竹田茂正\*, 鈴木 亮\*, 古野忠秀\*, 手島玲子, 中西 守\*: 知覚神経活性化によるマスト細胞のカルシウムシグナル

第73回日本生化学会大会(2000.10)

\*名古屋市立大学薬学部

手島玲子, 明谷早映子\*, 梅澤喜夫\*, 澤田純一: マスト細胞における抗原特異的IgE濃度とカルシウム応答との相関について

第73回日本生化学会大会(2000.10)

\*東京大学理学部化学科

森 尚子\*<sup>1</sup>, 鈴木 亮\*<sup>1</sup>, 古野忠秀\*<sup>1</sup>, 手島玲子, Bienenstock J.\*<sup>2</sup>, 中西 守\*<sup>1</sup>: マスト細胞と神経細胞の細胞間相互作用の可視化解析

第73回日本生化学会大会(2000.10)

\*<sup>1</sup>名古屋市立大学薬学部\*<sup>2</sup>MacMaster University

新藤智子\*<sup>1</sup>, 金沢由基子\*<sup>1</sup>, 古谷真美\*<sup>1</sup>, 小島幸一\*<sup>1</sup>, 手島玲子, 奥貫晴代, 澤田純一, 高橋和子\*<sup>2</sup>, 大澤基保\*<sup>2</sup>, 吉田貴彦\*<sup>3</sup>: トルエンジイソシアネート暴露マウスにおける免疫影響指標

の解析(1)液性免疫能(抗体産生)に関する指標

第7回免疫毒性研究会(2000.9)

\*<sup>1</sup>食品薬品安全センター秦野研究所\*<sup>2</sup>帝京大学薬学部\*<sup>3</sup>旭川医科大学医学部

鈴木 亮\*, 古野忠秀\*, 竹田茂正\*, 大城博行\*, 手島玲子, 中西 守\*: 交換神経節および感覚神経節初代培養細胞とマスト細胞のクロストークの研究

第22回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム(2000.11)

\*名古屋市立大学薬学部

手島玲子: 遺伝子組換え食品とアレルギー性試験

第37回全国衛生化学技術協議会年会(2000.10)

手島玲子：遺伝子組換え食品の安全性試験－免疫毒性並びにアレルギー性試験－  
平成12年日本食品衛生学会特別シンポジウム (2000.11)

手島玲子：遺伝子組換え食品の安全性とその評価  
平成12年農林水産技術情報協会フォーラム (2000.12)

奥貫晴代, 手島玲子, 重田輝子, 佐久嶋順一郎, 穂山 浩, 合田幸広, 豊田正武, 澤田純一：遺伝子組換え食品導入蛋白質 (CP4-EPSPS 等) の熱感受性並びに *in vitro* 分解性試験  
第81回日本食品衛生学会学術講演会 (2001.5)

安達玲子, 松井幸子\*, 楠井 薫, 山口照英, 笠原 忠\*, 早川亮夫, 鈴木和博：食細胞のコフィリンの活性制御におけるホスホリパーゼCの役割  
第73回日本生化学会大会 (2000.10)  
\*共立薬科大学

渡辺秀実\*, 浜野美紀子\*, 安達玲子, 楠井 薫, 笠原 忠\*, 鈴木和博：白血球細胞の分化に対する内分泌攪乱物質の影響  
第73回日本生化学会大会 (2000.10)  
\*共立薬科大学

渡辺秀実\*, 安達玲子, 楠井 薫, 笠原 忠\*, 鈴木和博：白血球細胞の分化に対する内分泌攪乱化学物質の影響  
第30回日本免疫学会総会・学術集会 (2000.11)  
\*共立薬科大学

Sasaki, D.<sup>1</sup>, Shimizu, S.<sup>1</sup>, Naito, S.<sup>2</sup>, Sato, Y., Mori, Y.<sup>3</sup> and Kiuchi, Y.<sup>1</sup>: Nitric Oxide inhibits the expression of transcription factor ETS-1 and cell migration in rat aortic smooth muscle cells  
第74回日本薬理学会総会 (2001.3)

<sup>1</sup> 昭和大学

<sup>2</sup> 国立嬉野病院

<sup>3</sup> 国立生理学研究所

室井正志, 棚元憲一：リポドAの構造認識機構  
第5回日本LPS研究会 (2000.6)

Ken-ichi Tanamoto, Satoko Azumi : *Salmonella*-type lipid A is inactive on human cells  
6th Conference of the International Endotoxin Society (2000.8)

Masashi Muroi, Takahiro Ohnishi, Ken-ichi Tanamoto : Domain requirements of mouse CD14 molecule to enhance TLR2- and TLR4-mediated activation of NF- $\kappa$ B in response to lipopolysaccharide.  
6th Conference of the International Endotoxin Society (2000.8)

棚元憲一：エンドトキシンの生物活性を支配する要因  
第6回日本エンドトキシン研究会 (2000.11)

室井正志, 大西貴弘, 棚元憲一：内毒素によるNF- $\kappa$ B活性化に必須なCD14分子の機能的部位の探索  
第74回日本細菌学会総会 (2001.4)

大西貴弘, 室井正志, 棚元憲一：Toll-like receptor 結合分子MD-2におけるグリコシル化の役割  
第74回日本細菌学会総会 (2001.4)

黛(安住)聡子, 室井正志, 棚元憲一：サルモネラリポドAの動物種特異的反応におけるMD-2の関与  
第74回日本細菌学会総会 (2001.4)

洪志駿, 棚元憲一：内分泌かく乱物質のエンドトキシン作用に与える影響について  
第74回日本細菌学会総会 (2001.4)

宮原美知子, 玉井奈都子, 小沼博隆：ビーズ法(K6)を用いた腸炎ビブリオの検出方法  
第21回日本食品微生物学会学術総会 (2000.10)

Michiko Miyahara, Hiroataka Konuma : Japanese EHEC O157:H7 Strains Having Similar DNA Sequences to that of Bacteriophage 933W

4th International Symposium and Workshop on “Shiga toxin (Verocytotoxin)-producing *Escherichia coli* Infections” (2000.11)

Michiko Miyahara, Makoto Miyahara : Effects of Gamma and E-beam Irradiation on Survival of Anaerobic and Aerobic Bacteria  
12th International Meeting on Radiation Processing (2001.3)

宮原美知子, 熊谷進, 小沼博隆：夏・秋・冬における殻付き卵での *Salmonella* Enteritidis(SE) 接種実験  
日本防菌防黴学会第28回年次大会 (2001.5)

村瀬 稔<sup>1</sup>, 木股祐子<sup>1</sup>, 仲西寿男<sup>1</sup>, 小沢一弘<sup>2</sup>, 赤羽荘資<sup>2</sup>, 浅川 豊<sup>2</sup>, 田中廣行<sup>3</sup>, 宇田川藤江<sup>3</sup>, 上条茂徳<sup>4</sup>, 南沢仁志<sup>4</sup>, 小沼博隆：食品からの腸管出血性大腸菌O157およびサルモネラの分離培地“CHROM AGAR”の検討  
第21回日本食品微生物学会学術総会 (2000.10)

<sup>1</sup> 神戸市環境保健研究所

<sup>2</sup> 中部衛生検査センター

<sup>3</sup> 日本食品分析センター

<sup>4</sup> 日本ベクトン・ディッキンソン

長谷川順子<sup>1</sup>, 仁科徳啓<sup>1</sup>, 工藤由起子<sup>2</sup>, 小沼博隆, 熊谷進<sup>3</sup>：酸性下における *Vibrio parahaemolyticus* の消長  
第21回日本食品微生物学会学術総会 (2000.10)

<sup>1</sup> 東海大学

<sup>2</sup> 国立感染症研究所

<sup>3</sup> 東京大学院農生命

榊原芳恵<sup>1</sup>, 工藤由起子<sup>2</sup>, 小沼博隆, 澤田拓士<sup>1</sup>, 熊谷 進<sup>3</sup>：殻付卵の保存条件と *Salmonella* Enteritidis の増殖性に關する研究  
第21回日本食品微生物学会学術総会 (2000.10)

<sup>1</sup> 日本獣医畜産大学

<sup>2</sup> 国立感染症研究所

<sup>3</sup> 東京大学院農生命

山本真弓<sup>1</sup>, 山田 満<sup>1</sup>, 岡野哲也<sup>2</sup>, 松尾 豊<sup>2</sup>, 日下部鉄

也\*<sup>2</sup>, 田村 成\*<sup>2</sup>, 日置裕一\*<sup>2</sup>, 大森牧子\*<sup>3</sup>, 石原島栄二\*<sup>3</sup>, 春日文子\*<sup>4</sup>, 小沼博隆: 食材由来菌に汚染した手指の洗浄殺菌方法の検討

日本防菌防黴学会第27回年次大会 (2000.5)

\*<sup>1</sup>和洋女子大学

\*<sup>2</sup>花王石鹼株式会社

\*<sup>3</sup>栃木県保健環境センター

\*<sup>4</sup>国立感染症研究所

仁科徳啓\*<sup>1</sup>, 工藤由起子\*<sup>2</sup>, 杉山寛治\*<sup>3</sup>, 斉藤章陽\*<sup>4</sup>, 中川 弘\*<sup>5</sup>, 宮原美知子, 長谷川敦子\*<sup>6</sup>, 市原 智\*<sup>6</sup>, 小沼博隆, 熊谷進\*<sup>7</sup>: 食品からの *Vibrio parahaemolyticus*(TDH+) 分離方法の検討

第151回日本獣医学会学術集会 (2001.4)

\*<sup>1</sup>東海大学

\*<sup>2</sup>国立感染症研究所

\*<sup>3</sup>静岡県環境衛生科学研究所

\*<sup>4</sup>埼玉県衛生研究所

\*<sup>5</sup>財団法人東京顕微鏡院

\*<sup>6</sup>東京サラヤ株式会社

\*<sup>7</sup>東京大学院農生命

工藤由起子\*<sup>1</sup>, 池戸正成\*<sup>2</sup>, 小松 理\*<sup>2</sup>, 小沼博隆, 中川 弘\*<sup>3</sup>, 山本茂貴\*<sup>1</sup>, 熊谷 進\*<sup>4</sup>: 酵素基質培地を用いた腸管出血性大腸菌 O26 の検出方法の検討

第83回日本細菌学会関東支部総会 (2000.11)

\*<sup>1</sup>国立感染症研究所

\*<sup>2</sup>栄研化学株式会社

\*<sup>3</sup>財団法人東京顕微鏡院

\*<sup>4</sup>東京大学院農生命

仁科徳啓\*<sup>1</sup>, 工藤由起子\*<sup>2</sup>, 中川 弘\*<sup>3</sup>, 小沼博隆, 熊谷進\*<sup>4</sup>: 酵素基質培地を用いた腸炎ビブリオの検出方法の検討

第83回日本細菌学会関東支部総会 (2000.11)

\*<sup>1</sup>東海大学

\*<sup>2</sup>国立感染症研究所

\*<sup>3</sup>財団法人東京顕微鏡院

\*<sup>4</sup>東京大学院農生命

酒井綾子, 増井 徹, 降旗千恵\*: BALB/3T3細胞における発癌プロモーターによる *Np95*mRNA の発現上昇

第59回日本癌学会総会 (2000.10)

\*青山学院大・理工

松谷佐知子: 細菌の挿入因子 IS1 と真核生物の SINE における転写装置の普遍性

第14回遺伝的組換えとその制御ワークショップ (2000.12)

松谷佐知子: 細菌における RNA ポリメラーゼ III プロモーター配列の保存とその機能

第23回日本分子生物学会年会 (2000.12)

高鳥浩介: 真菌アレルギー 住環境にみる真菌とその生態  
日本医真菌学会第44回総会 (2000.10)

Kikuchi, Y., Yamazaki, T., Imazawa, T., Takekida, K.\*<sup>1</sup>, Nishikawa, A., Takatori, K., Tanimura, A.\*<sup>1</sup>, Tanamoto, K. and Sawada, J.: High-level expression of cellular form of prion protein in human glioblastoma cell line T98G

Society for Neuroscience 30th Annual Meeting (2000.11)

\*<sup>1</sup>Showa Women's University

菊池 裕, 高鳥浩介, 伊藤 均\*<sup>1</sup>, 小沼博隆: 低線量放射線による微生物毒素産生能の変化に関する研究 1 ペロ毒素を産生する腸管出血性大腸菌 *E. coli* O157:H7 に及ぼす影響  
日本食品照射研究協議会第36回大会 (2000.12)

\*<sup>1</sup>日本原子力研究所高崎研究所

高鳥浩介, 菊池 裕, 鈴木明子, 成田紀子, 穂山 浩, 合田幸広, 豊田正武, 伊藤 均\*<sup>1</sup>, 小沼博隆: 低線量放射線による微生物毒素産生能の変化に関する研究 2 マイコトキシンを産生する真菌に及ぼす影響  
日本食品照射研究協議会第36回大会 (2000.12)

\*<sup>1</sup>日本原子力研究所高崎研究所

神沼二真: 医薬品開発, 化学物質の安全性研究, ゲノム研究からの計算化学への期待

2000 計算化学討論会 (2000.6)

鈴木聡子, 川出 達, 瀧 明子, 長谷川式子, 山本美智子, 中野達也, 宮田直樹, 神沼二真: 医薬品一般名称のデータベース化

CBI学会 (2000.7)

瀧 明, 大竹千代子, 中野達也, 高野英雄, 前田 憲, 神沼二真: 健康環境影響化合物データベースの開発

CBI学会 (2000.7)

高井貴子, 長谷川式子, 神沼二真: 内分泌かく乱物質の受容体結合情報のデータベース化

CBI学会 (2000.7)

福澤 薫, 大河内郁雄, 小谷野和郎, 中野達也, 中田琴子, 神沼二真: エストロゲン受容体リガンド結合エネルギーの計算による予測について

CBI学会 (2000.7)

高井貴子, 徳永雅彦, 中田琴子, 神沼二真: 公開 SNPs データの自動収集システム

CBI学会 (2000.7)

高井貴子, 徳永雅彦, 中野達也, 中田琴子, 神沼二真: MOBI-DIGS 開発における生体影響データベースの統合

CBI学会 (2000.7)

山本美智子, 高井貴子, 中野達也, 會田喜崇, 濱 義昌, 落合宏英, 清水 広, 斉藤竜太, 小沢直記, 橋本宗弘, 神沼二真: 薬物代謝酵素チトクローム P450 関連知識ベース

CBI学会 (2000.7)

渡邊将人, 三谷なな子, 鈴木福英, 三木敬三郎, 三輪錠司,

- 神沼二眞 : *C. elegans* を用いた階層的な化学物質の生体影響評価体系の研究  
CBI学会 (2000.7)
- 徳永雅彦, 上林正巳, 宮澤三造, 中野達也, 神沼二眞 : CBIポータル構築  
CBI学会 (2000.7)
- 神沼二眞, 高井貴子, 湯川真澄, 滝 克彦, 立野玲子, 中野達也 : GERS IV : *C. elegans* の発生過程の再構成システム  
CBI学会 (2000.7)
- 神沼二眞 : ITが加速するゲノム革命  
バイオエンジニアリング研究会講演会 (2000.10)
- 鈴木聡子, 横山美和, 川出 達, 瀧 明子, 長谷川式子, 山本美智子, 小峰 啓, 中野達也, 宮田直樹, 神沼二眞 : 医薬品一般名称のデータベース化 (その 2)  
第23回情報化学討論会 (2000.10)
- 高野英雄, 友利和秀, 中野達也, 小谷野和郎, 神沼二眞 : 内分泌かく乱候補物質および関連物質データベースの開発 2  
第23回情報化学討論会 (2000.10)
- 小谷野和郎, 中野達也, 神沼二眞 : CoMFAを用いたダイオキシン類の構造活性相関解析  
第28回構造活性相関シンポジウム (2000.10)
- 福澤 薫, 小谷野和郎, 中野達也, 中田琴子, 神沼二眞 : エストロゲン受容体リガンド結合エネルギーの計算による予測  
第28回構造活性相関シンポジウム (2000.10)
- 高井貴子, 蕪山典子, 滝 克彦, 湯川真澄, 小宮山直美, 神沼二眞 : *C. elegans* の発生過程のグラフィックス  
バイオイメージング学会 (2000.11)
- 滝 克彦, 湯川真澄, 小宮山直美, 岡田真紀子, 斉藤竜太, 會田善崇, 濱 義昌, 神沼二眞 : 線虫発生過程の画像解析  
バイオイメージング学会 (2000.11)
- 神沼二眞, 湯川真澄, 岡田真紀子, 小宮山直美 : *C. elegans* を用いたスクリーニング法の開発  
環境ホルモン学会 (2000.12)
- 小谷野和郎, 中野達也, 神沼二眞 : CoMFAによるダイオキシンの毒性予測  
環境ホルモン学会 (2000.12)
- 山本美智子, 落合宏英, 會田喜崇, 濱 義昌, 小沢直記, 高井貴子, 中田琴子, 神沼二眞 : 薬物代謝酵素チトクローム (CYP) P450相互作用データベース  
薬学会 (2001.3)
- Takako Takai-Igarashi and Tsuguchika Kaminuma : Cell Signaling Networks Database and its Application to Medicinal Biology  
CBI学会 (2000.7)
- T. Kaminuma : Future of Toxicology and Role of Asian Chemical Safety Network  
ASIATOX II, Korea (2000.8)
- T. Kaminuma, M. Yukawa, M. Okada, N. Komiyama, N. Kabuyama, H. Taki : A Dynamic Reconstruction Model for Embryo Development of *C. elegans*  
Genome Workshop (2000.12)
- Nakata, K., Nakano, T., Fukuzawa, K., Koyano, K. and Kaminuma, T.: Mode of Action Analysis of Endocrine Disrupting Chemicals,  
Biophysical Society 45th Annual Meeting (Boston, 2001.2)
- Nakata, K., Nakano, T., Takai-Igarashi, T. and Kaminuma, T.: Pharmacoinformatics infrastructure for genome based personalized medicine.  
Genome Informatics Workshop (Tokyo, 2000.12)
- Nakata, K., Hasegawa, S. and Kaminuma, T.: Extension of a Receptor Database for Pharmacological Research.  
Advanced Genomics (Yokokama, 2000.11)
- Nakata, K., Takai, T., Nakano, T. and Kaminuma, T.: Receptor Database (RDB) as an analytical tool for the drug design.  
International Conference on Bioinformatics of Genome Regulation and Structure (Novosibirsk, 2000.8)
- 中田琴子, 高井貴子, 長谷川式子, 神沼二眞 : 受容体データベースの発展  
CBI学会 (2000.7)
- Nakata, K., Nakano, T., Takai, T. and Kaminuma, T.: Structure analysis of estrogen receptor using receptor database. (Kyongyu, May 2000)
- Nakata, K., Takai, T., Nakano, T. and Kaminuma, T. : Receptor Database (RDB): As an Analytical Tool.  
RECOMB 2000 (Tokyo, 2000.4)
- 山本 都, 高井貴子, 神沼二眞 : 健康危機管理ホームページの構築と検索エンジンの開発  
CBI学会第1回年会 (2000.7)
- 中野達也, 神沼二眞, 上林正巳<sup>\*1</sup>, 佐藤智之<sup>\*2</sup>, 稲富雄一<sup>\*3</sup>, 秋山 泰<sup>\*4</sup>, 古明地勇人<sup>\*5</sup>, 長嶋雲兵<sup>\*5</sup>, 北浦和夫<sup>\*6</sup> : フラグメントMO法プログラムABINIT-MPによるタンパク質の計算  
2000 計算化学討論会 (2000.6)

\*1 生命工学工業技術研究所

\*2 ㈱富士総合研究所

\*3 筑波大学

\*4 電子技術総合研究所

\*5 産業技術融合領域研究所

\*6 大阪府立大学

中野達也, 神沼二眞, 上林正巳\*<sup>1</sup>, 佐藤智之\*<sup>2</sup>, 稲富雄一\*<sup>3</sup>, 秋山 泰\*<sup>4</sup>, 古明地勇人\*<sup>5</sup>, 長嶋雲兵\*<sup>5</sup>, 北浦和夫\*<sup>6</sup>: フラグメントMO法プログラムABINIT-MPによるタンパク質の計算 2

CBI学会 (2000.7)

\*<sup>1</sup> 生命工学工業技術研究所

\*<sup>2</sup> (株)富士総合研究所

\*<sup>3</sup> 筑波大学

\*<sup>4</sup> 電子技術総合研究所

\*<sup>5</sup> 産業技術融合領域研究所

\*<sup>6</sup> 大阪府立大学

中野達也, インターネットアトラス\*<sup>1</sup>, 小谷野和郎, 神沼二眞: 内分泌かく乱候補物質および関連物質データベースの開発

2000CBI学会 (2000.7)

\*<sup>1</sup> (株)インターネットアトラス

中野達也, 神沼二眞, 上林正巳\*<sup>1</sup>, 佐藤智之\*<sup>2</sup>, 稲富雄一\*<sup>3</sup>, 秋山 泰\*<sup>4</sup>, 古明地勇人\*<sup>5</sup>, 長嶋雲兵\*<sup>5</sup>, 北浦和夫\*<sup>6</sup>: フラグメント分子軌道法による解析的微分を用いた構造最適化計算 第23回情報化学討論会 (2000.10)

\*<sup>1</sup> 生命工学工業技術研究所

\*<sup>2</sup> (株)富士総合研究所

\*<sup>3</sup> 筑波大学

\*<sup>4</sup> 電子技術総合研究所

\*<sup>5</sup> 産業技術融合領域研究所

\*<sup>6</sup> 大阪府立大学

中野達也, 福澤 薫\*<sup>1</sup>, 小谷野和郎, 中田琴子, 神沼二眞: エストロゲン受容体とリガンドとの結合性の計算 日本内分泌攪乱化学物質学会第3回研究発表会 (2000.12)

\*<sup>1</sup> (株)富士総合研究所

関澤 純: 環境ホルモン物質によるリスクを考える 第3回内分泌攪乱化学物質問題に関する国際シンポジウム (2000.12)

Sekizawa J., Murayama T.\*<sup>1</sup> and Nagashima M.\*<sup>2</sup>: Risk Communication on Endocrine Disruptors and Dioxins by News Media in Japan

2000 Annual Meeting of the Society for Risk Analysis (2000.12)

\*<sup>1</sup> Waseda University

\*<sup>2</sup> Kyowa Hakko Kogyo CO., LTD.

Sekizawa J. and Sugimori S.\*: Risk Communication on the Problems Regarding Endocrine Disruptors and on Release of Information on Pollutant Emission from Industrial Plants

Fifth International Conference on Probabilistic Safety Assessment and Management (2000.11)

\* Tokyo Gakugei University

関澤 純, 内山巖雄\*<sup>1</sup>, 松井三郎\*<sup>2</sup>: 環境を経由した化学物質による次世代影響リスクの統合的な評価—医薬品を例とした予備的評価と文献的考察— 第13回日本リスク研究学会研究発表会 (2000.11)

\*<sup>1</sup> 国立公衆衛生院

\*<sup>2</sup> 京都大学

関澤 純, 今井 清\*<sup>1</sup>, 松木容彦\*<sup>1</sup>, 吉岡義正\*<sup>2</sup>: 医薬品その他の生理活性物質の環境中運命と環境中生物に及ぼす影響の評価

第14回日本動物実験代替法学会研究発表会 (2000.11)

\*<sup>1</sup> 食品薬品安全センター

\*<sup>2</sup> 大分大学

関澤 純: IT時代における食品添加物情報—情報提供・情報入手におけるそれぞれの役割— 日本食品化学学会第11回食品化学シンポジウム (2000.11)

関澤 純: 環境分析とリスクコミュニケーション 環境分析技術協議会第29回総会特別講演 (2000.11)

関澤 純: リスクの考え方—化学物質の安全性確保におけるリスク評価とリスク管理の役割— リスクマネジメントセミナー (2000.10)

関澤 純: 化学物質のリスクにおける不確実性の評価 第13回日本リスク研究学会春期シンポジウム (2000.6)

Sekizawa J., Suter G.\* and Birnbaum L.\*: Case Study on Tributyltin and Triphenyltin Compounds - Information Package

International Workshop on Integrated Risk Assessment (2001.4)

\* US Environmental Protection Agency

井上 達: 特別講演「ホルモン様化学物質とその内分泌攪乱性生体作用の背景」 日本膜学会第22年会 (2000.5)

井上 達, 遠山千春\*: ワークショップ「化学物質による毒性評価系としての遺伝子変異動物」 第27回日本トキシコロジー学会学術年会 (2000.6)

\* 国立環境研究所

Inoue, T.: Plenary Lectures "Current trends in Hematotoxicology Hemopoietic stem cells as a tool of interpreting the mechanism of hematotoxicology"

The Second Congress of Asian Society of Toxicology, ASIATOX II (2000.8)

井上 達: 内分泌攪乱化学物質の評価法の現状 第6回環境ホルモン学会講演会「内分泌攪乱化学物質の評価・試験法」 (2000.10)

井上 達: 内分泌作用物質と内分泌かく乱 第一回植物エストロゲン・シンポジウム (2001.1)

Inoue, T.: Hormone-mimic chemicals and their possible endocrine disruption - Development of testing methods - The First Symposium of The NIRT/KFDA and BSRC/HHHS (200.10)

Inoue, T.: **Hormonally active compounds and their implication of low-dose effects**

Annual Symposium of The Korean Society of Endocrinology (2000.11)

Inoue, T.: **Hormonally active compounds (HAC) and endocrine disruption (ED) -possible mechanism of "low dose effect"**

U.S.-Japan International Workshop for Endocrine Disrupting Chemicals (2001.3)

高橋 雄, 小泉健一\*, 北嶋 聡, 高木篤也, 井上 達, 古関明彦\*, 相賀裕美子: **Mesp2はNotchシグナリングとDIIIの発現を制御することによって体節の前後極性の確立に関与する**

第33回日本発生生物学学会 (2000.5)

\*千葉大学医学部

北嶋 聡, 高木篤也, 井上 達, 相賀裕美子: **転写因子MesP1およびMesP2の初期中胚葉形成における役割**

第33回日本発生生物学学会 (2000.5)

澤田篤志\*<sup>1</sup>, 黒岩厚\*<sup>2</sup>, 相賀裕美子, 武田洋幸\*<sup>1</sup>: **ゼブラフィッシュ体節形成におけるher1の周期的な発現**

第33回日本発生生物学学会 (2000.5)

\*<sup>1</sup>国立遺伝学研究所

\*<sup>2</sup>名古屋大学理学部

Kitajima, S., Takagi, A., Inoue, T., Saga, Y.: **Mesp1 and Mesp2 are essential for the development of cardiac mesoderm**

Mouse Molecular Genetics 2000 (2000. 8)

Nomura-Kitabayashi, A., Takagi, A., Kitajima, S., Sawada, A. \*, Inoue, T., Takeda, H. \*, Saga, Y.: **mespb, zebrafish Mesp-related gene, partially rescues segmentation defect in Mesp2-deficient mice**

Mouse Molecular Genetics 2000 (2000. 8)

\*国立遺伝学研究所

Takahashi, Y., Inoue, T., Saga, Y.: **Expression of Mesp2 is correlated with the molecular clock and regulates Notch pathway genes in somitogenesis**

Mouse Molecular Genetics 2000 (2000. 8)

Takahashi, Y., Koizumi, K. \*, Takagi, A., Kitajima, S., Inoue, T., Koseki, H. \* and Saga, Y.: **Mesp2 initiates somite segmentation via the Notch signaling pathway**

Mouse Molecular Genetics 2000 (2000. 8)

\*千葉大学医学部

Kitajima, S., Takagi, A., Inoue, T. and Saga, Y.: **MesP1 and MesP2 are essential for the development of cardiac mesoderm**

International Congress on Cell Differentiation and Development (2000. 9)

相賀裕美子: **体節形成とNotchシナリング: 転写因子MesP2による制御**

第73回日本生化学会 (2000.10)

相賀裕美子: **繰り返しパターンの確立機構**

第53回日本細胞生物学会 (2000.10)

Saga, Y.: **Function of Mesp2, a bHLH-type transcription factor, in somite segmentation**

International Symposium in Conjunction With Award of The International Prize for Biology -Frontiers of Developmental Biology-(2000. 11)

高橋 雄, 小泉健一\*, 北嶋 聡, 高木篤也, 井上 達, 古関明彦\*, 相賀裕美子: **体節の前後極性の形成におけるMesP2とNotchシグナリングの役割**

第23回日本分子生物学会 (2000.12)

\*千葉大学医学部

高木篤也, 北嶋 聡, 北林あや, 高橋雄, 井上達, 相賀裕美子: **転写因子Mesp2及びParaxisのダブルノックアウトマウスの解析**

第23回日本分子生物学会 (2000.12)

北林あや, 高木篤也, 北嶋 聡, 澤田篤志\*, 井上 達, 武田洋幸\*, 相賀裕美子: **Mesp 転写因子の機能解析: ゼブラフィッシュ Mesp2 ホモログ, mespb によるレスキュー**

第23回日本分子生物学会 (2000.12)

\*国立遺伝学研究所

原口清輝, 北嶋 聡, 高木篤也, 北林あや, 井上 達, 小林 悟\*, 相賀裕美子: **マウス nanos 遺伝子の機能解析**

第23回日本分子生物学会 (2000.12)

\*筑波大学生物科学系

Kitajima, S., Kitabayashi, A., Hirabayashi, Y., Saga, Y. and Inoue, T.: **A novel haploid germ cell-specific antigen detected by monoclonal antibody during rat spermatogenesis**

2000 Cold Spring Harbor Laboratory Meeting on Germ Cells (2000.10)

加藤千明\*, 堀井郁夫\*, 北嶋 聡, 相賀裕美子, 井上 達: **Flow cytometry を用いたラット精巣毒性検査方法の検討 - Cyclophosphamide2 週間投与の影響 -**

第27回日本トキシコロジー学会 (2000.6)

\*日本ロシユ(株)研究所

井上 達, 北嶋 聡, 門馬純子\*: **モルモットの皮膚反応における基本法則: 3つのパラメーターの関係式について**

第90回日本病理学会総会 (2001.4)

\*医薬品機構

平林容子, 淀井淳司\*, 菅野 純, 鈴木幸子, 尹 秉一, 内田雄幸, 梅村隆志, 川崎 靖, 黒川雄二, 井上 達: **Trx/ADF 遺伝子改変マウスのパラコート耐性**

第90回日本病理学会総会 (2001.4)

\*京都大学ウイルス研究所

Hirabayashi, Y., Yoon, B.I., Kodama, Y., Kanno, J. and Inoue, T.: **Connexin-32 gap junction is involved in the normal hemopoiesis** Keystone Symposia "Pluripotent Stem Cells: Biology and Applications" (2001.2)

Yoon, B.I., Hirabayashi, Y., Kawasaki, Y., Kodama, Y., Igarashi, K., Kanno, J., Kaneko, T. and Inoue, T.: **cDNA microarray in mouse bone marrow cells: Profiles reflecting the epigenetic responses to benzene**

第 23 回日本分子生物学会年会 (2000.12)

田中 稔\*<sup>1</sup>, 平林容子, 中村健司\*<sup>1</sup>, 中尾和貴\*<sup>1</sup>, 井上 達, 勝木元也\*<sup>2</sup>, 宮島 篤\*<sup>1</sup>: **オンコスタチンM受容体ノックアウトマウスの解析**

第 23 回日本分子生物学会年会 (2000.12)

\*<sup>1</sup> 東京大学分子細胞生物学研究所

\*<sup>2</sup> 東京大学医科学研究所

Yoon, B.I., Hirabayashi, Y., Kawasaki, Y., Kodama, Y., Kaneko, T. and Inoue, T.: **Over-expression of thioredoxin in transgenic mice attenuates hematotoxicity induced by benzene**

American Society of Hematology Forty-Second Annual Meeting (2000.12)

Tanaka, M.\*<sup>1</sup>, Hirabayashi, Y., Nakamura, K.\*<sup>1</sup>, Nakao, K.\*<sup>1</sup>, Inoue, T., Katsuki, M.\*<sup>2</sup> and Miyajima, A.\*<sup>1</sup>: **Targeted disruption of the Oncostatin M receptor gene causes unsettled anemia**

American Society of Hematology Forty-Second Annual Meeting (2000.12)

\*<sup>1</sup> 東京大学分子細胞生物学研究所

\*<sup>2</sup> 東京大学医科学研究所

平林容子, 相澤慎一\*, 井上 達: **p53 欠失骨造血幹細胞の増殖能—連続骨髄移植アッセイモデル**

第 17 回日本疾患モデル学会総会 (2000.11)

\* 熊本大学・発生医学研究センター

Yoon, B.I., Kawasaki, Y., Hirabayashi, Y., Kaneko, T., Kodama, Y., Aizawa, S-i. and Inoue, T.: **Different leukemogenic mechanisms of benzene in wild, p53 hetero- and homozygous deficient mice**

第 17 回日本疾患モデル学会総会 (2000.11)

平林容子, 高木篤也, 尹 乗一, 児玉幸夫, 五十嵐勝秀, 菅野 純, 黒川雄二, 井上 達: **Mn-SOD 遺伝子導入マウス骨髄細胞でのγ線に対する抵抗性**

第 59 回日本癌学会総会 (2000.10)

尹 乗一, 平林容子, 児玉幸夫, 五十嵐勝秀, 菅野 純, 井上 達: **ベンゼン暴露マウス骨髄細胞における cDNA マイクロアレイによる遺伝子発現のプロフィール**

第 59 回日本癌学会総会 (2000.10)

吉田和子\*, 相澤志郎\*, 平林容子, 井上 達: **副腎皮質ホルモンは p53 を介さないアポトーシスによって放射線誘発リンパ性腫瘍の発生を抑制する**

第 59 回日本癌学会総会 (2000.10)

\*放射線医学総合研究所

吉田和子\*, 相澤志郎\*, 渡辺恵子\*, 平林容子, 井上 達: **p53 遺伝子欠失マウスに発症する造血器腫瘍—p53 遺伝子欠失骨髄で造血系を再建したマウスとの比較—**

日本放射線影響学会第 43 回大会 (2000.8)

\*放射線医学総合研究所

相澤志郎\*, 渡辺恵子\*, 田中 薫\*, 吉田和子\*, 平林容子, 井上 達: **p53 ヘテロ欠失マウスからの放射線誘発胸腺リンパ腫における LOH 発生の機構解析**

日本放射線影響学会第 43 回大会 (2000.8)

\*放射線医学総合研究所

Hirabayashi, Y., Yoon, B.I., Kawasaki, Y., Kaneko, T. and Inoue, T.: **Mechanism of benzene leukemogenicity: cell cycle suppression in CFU-GM**

The 28th World Congress of The International Society of Hematology (2000.8)

Hirabayashi, Y., Saga, Y., Kanno, J., Kurokawa, Y. and Inoue, T.: **Hematotoxicity by two oxidative stress agents, ultraviolet light (UV) and paraquat, in Thioredoxin/ADF transgenic and knock-out mice: comparison between in vitro and in vivo study**

The Second Congress of Asian Society of Toxicology, ASIATOX II (2000.8)

Yoon, B.I., Hirabayashi, Y., Kawasaki, Y., Kodama, Y., Kaneko, T. and Inoue, T.: **p21CIP1 plays a pivotal role in the cell cycle suppression of hemopoietic progenitor cells (CFU-GMs) induced by benzene**

The Second Congress of Asian Society of Toxicology, ASIATOX II (2000.8)

Hirabayashi, Y., Yoshida, K., Aizawa, S-i., Kodama, Y., Kanno, J. and Inoue, T.: **p53-deficiency directly revealed the non-threshold leukemogenesis by a single administration of relatively low-dose of methyl nitrosourea**

29th Annual Meeting of The International Society for Experimental Hematology (2000.7)

Yoon, B.I., Hirabayashi, Y., Kawasaki, Y., Kodama, Y., Kaneko, T. and Inoue, T.: **Mechanism of benzene toxicity and leukemogenicity: Cell cycle suppression in hemopoietic progenitor cells (CFU-GMs)**

29th Annual Meeting of The International Society for Experimental Hematology (2000.7)

平林容子, 児玉幸夫, 梅村隆志, 川崎 靖, 金子豊蔵, 菅野 純, 黒川雄二, 井上 達: **Thioredoxin/ADF 遺伝子改変マウス由来の造血前駆細胞における酸化的ストレス物質の造血毒性発現様式**

第 27 回日本トキシコロジー学会学術年会 (2000.6)

Ono, A., Kanno, J. and Inoue, T.: **Molecular aspects of functional differences among estrogen receptor ligands**

11th International Congress of Endocrinology (2000.12)

Kaneko, T.: **Current researches at the MHW-Study of Dioxin exposure and related effects on endometriosis-**  
The 1st Symposium of The NITR/KFDAKOREA and BSRC/NIHS/JAPAN (2000.10)

金子豊蔵: **GLP管理下の実験動物管理**  
第2回中日医薬品安全性評価学術シンポジウム (2001.3)

松島裕子, 井上 達, 菅野 純: **17 $\beta$ -estradiolの思春期前ラット投与における子宮肥大について-内分泌かく乱作用を照準とした経世代試験改良のための考察-**  
第3回日本内分泌かく乱化学物質学会 (2000.12)

相崎健一, 菅野 仁\*<sup>1</sup>, 井川洋二\*<sup>2</sup>, 三輪史朗\*<sup>3</sup>, 相澤信\*<sup>1</sup>: **解糖系異常により誘発される赤芽球系前駆細胞のアポトーシス**  
第20回血液幹細胞シンポジウム (2000.11)

\*<sup>1</sup> 日本大学医学部

\*<sup>2</sup> 理化学研究所

\*<sup>3</sup> 沖中記念成人病研究所

Aisaki, K., Aizawa, S.\*<sup>1</sup>, Fujii, H.\*<sup>2</sup>, Ikawa, Y.\*<sup>3</sup>, Miwa, S.\*<sup>4</sup>, Nakagawa, S.\*<sup>1</sup> and Kanno, H.\*<sup>1</sup>: **Inhibition of glycolysis as well as mutations of pyruvate kinase gene causes apoptosis of erythroid progenitor cells both in vivo and vitro**  
The American Society of Hematology 42th Annual Meeting (2000.12)

\*<sup>1</sup> 日本大学医学部

\*<sup>2</sup> 日本女子医大

\*<sup>3</sup> 理化学研究所

\*<sup>4</sup> 沖中記念成人病研究所

Kanno, J., Kato, H.\*<sup>1</sup>, Iwata, T.\*<sup>2</sup> and Inoue, T.: **Uterotrophic effect of dietary Genistein/Daidzein—Modification of NIH-07 open formula—**  
RH Workshop・Hormone and Endocrine Disruptors in Food and Water: Possible Impact on Human Health (2000.5)

\* Nihon Bioresearch Center Inc.

Kanno, J., Kato, H.\*<sup>1</sup>, Iwata, T.\*<sup>2</sup> and Inoue, T.: **A Modified NIH-07 open Formula Diet Containing Undetectable Genistein/Genistin and Daidzein/Daidzin Reduces Uterine Weights in Ovariectomized rats**  
Gordon Research Conferences Environmental Endocrine Disruptors (2000.6)

\* Nihon Bioresearch Center Inc.

Kanno, J.: **Endocrine Disruptors (EDCs); Towards risk assessment—Strategy for Testing**  
第1回韓国・日本毒性関連所轄研究所会議 (2000.10)

菅野 純: **in vivo assay法とその問題点・子宮重量増加測定法とHershberger試験法**  
第6回環境ホルモン学会講演会・内分泌攪乱化学物質の評価・試験法 (2000.10)

菅野 純: **子宮肥大試験を中心としたエストロゲン様化学物質のスクリーニング**  
第3回内分泌攪乱化学物質に関する国際シンポジウム (2000.12)

菅野 純: **内分泌攪乱化学物質問題について**  
第30回塩ビ食品衛生セミナー (2000.12)

Kanno, J.: **Dioxin effects in rodent models in vivo and in vitro**  
Current Topics in Dioxin Research (2001.2)

Kanno, J.: **Endocrine disruption as a receptor-mediated toxicity**  
The 45th NIBB International Conference, Recent Progress in Endocrine Disruptor Research (2001.3)

松永信人\*<sup>1</sup>, 菅野 純, 吉村功\*<sup>2</sup>: **相乗性評価のための小動物実験の計画と解析**

応用統計学会・日本計量生物学会 (2001.4)

\*<sup>1</sup> 協和発酵

\*<sup>2</sup> 東京理科大学

菅野 純: **内分泌かく乱化学物質—受容体原生毒性としての考察**  
第90回日本病理学会総会 (2001.4)

鈴木 聡\*<sup>1</sup>, 倉田知光\*<sup>2</sup>, 西村有希\*<sup>2</sup>, 岩瀬万里子\*<sup>2</sup>, 李 華\*<sup>2</sup>, 伊藤洋二\*<sup>3</sup>, 草野満夫\*<sup>3</sup>, 大野泰雄, 内田英二\*<sup>2</sup>, 安原 一\*<sup>2</sup>, 佐藤哲男\*<sup>1</sup>: **公的資源: ヒト肝臓—わが国の現状と将来展望**  
第13回日本動物実験代替法学会 (1999.11)

\*<sup>1</sup> HAB協議会霊長類機能研究所

\*<sup>2</sup> 昭和大学医学部第二薬理学教室

\*<sup>3</sup> 昭和大学医学部第二外科学教室

大野泰雄: **今後の新薬開発における薬物動態試験**  
定量的オートラジオグラフ研究会 (2000.4)

鈴木 聡\*<sup>1</sup>, 倉田知光\*<sup>2</sup>, 西村有希\*<sup>2</sup>, 岩瀬万里子\*<sup>2</sup>, 李 華\*<sup>2</sup>, 伊藤洋二\*<sup>3</sup>, 草野満夫\*<sup>3</sup>, 佐藤哲男\*<sup>1</sup>, 大野泰雄, 内田英二\*<sup>2</sup>, 安原 一\*<sup>2</sup>: **医薬品開発における手術材料の有用性と信頼性**  
HAB協議会 (2000.5)

\*<sup>1</sup> HAB協議会霊長類機能研究所

\*<sup>2</sup> 昭和大学医学部第二薬理学教室

\*<sup>3</sup> 昭和大学医学部第二外科学教室

大野泰雄: **薬物相互作用検討ガイドランス (案) におけるヒト培養肝細胞の取り扱いとヒト由来の初代培養肝細胞を用いた薬物代謝試験およびそのバリデーションについて**  
肝細胞研究会 (2000.6)

大野泰雄: **ICHガイドラインの果たした役割と問題点 5. TK, PKの安全性研究における役割**  
第27回日本トキシコロジー学会セミナー II (2000.6)

鈴木 聡\*<sup>1</sup>, 新倉靖子\*<sup>1</sup>, 西村有希\*<sup>2</sup>, 倉田知光\*<sup>2</sup>, 伊藤洋二\*<sup>3</sup>, 草野満夫\*<sup>3</sup>, 佐藤哲男\*<sup>1</sup>, 大野泰雄, 安原 一\*<sup>2</sup>: **医薬品開発における手術材料の有用性と信頼性**

## 第 27 回日本トキシコロジー学会 (2000.6)

\*1 HAB 協議会霊長類機能研究所

\*2 昭和大学医学部第二薬理学教室

\*3 昭和大学医学部第二外科学教室

堺 俊治\*1, 高橋道人\*2, 三森国敏\*3, 安原加壽雄, 川島邦夫\*4, 馬屋原宏\*5, 宮本庸平\*6, 古川雅一\*7, 河下 伸\*8, 川口雅子\*9, 中野雄司\*10, 渡部一人\*11, 池尾富弘\*12, 川下浩人\*13, 細川 暁\*14, 渡邊隆夫\*15, 浅野 哲\*16, 小沢重成\*17, 土屋毅幸\*18, 松本智志\*19, 林万津子\*20, 山内研司\*21, 三善隆広\*22, 恒成一\*23, 米良幸典\*24, 川村信之\*25, 工藤 哲\*26, 福田 良\*27, 村上善紀\*28, 船橋 斉\*29, 入村兼司\*30, 大瀧芽久美\*31, 岡原明彦\*32, 伊藤今日子\*1, 大野泰雄: 反復投与試験におけるラット雄性生殖器官への毒性の評価に関する共同研究 29) まとめ

## 第 27 回日本トキシコロジー学会 (2000.6)

\*1 山之内製薬

\*2 昭和大学

\*3 東京農工大学

\*4 化合物安全性研究所

\*5 ラビトン

\*6 東レ

\*7 三井製薬

\*8 ウェルファイド

\*9 日研化学

\*10 旭化成

\*11 中外製薬

\*12 田辺製薬

\*13 ノバルティスファーマ

\*14 エーザイ

\*15 興和

\*16 帝人

\*17 キッセイ

\*18 三菱東京製薬

\*19 大塚製薬

\*20 日本ロッシュ

\*21 藤沢薬品工業

\*22 富山化学

\*23 日本ベーリンガーインゲルハイム

\*24 ゼリア新薬工業

\*25 アベンティスファーマ

\*26 杏林製薬

\*27 武田薬品

\*28 日本ワイスレダリー

\*29 大日本製薬

\*30 大鵬製薬

\*31 東京田辺製薬

\*32 参天製薬

Misawa, Y.\*, Watanabe, K.\*, Sakurai, T.\*, Fujii, E.\*, Tsukamoto, K.\*, Kato, A.\*, Sugimoto, T.\* and Ohno, Y.: **Influence of the administration period on testicular toxicity of a platinum complex compound in rats**

2000 Asia Tox. (2000.8)

\*興和

大野泰雄: 薬物動態試験ガイドランスとその最近の動向  
創薬放射線研究会 (2000.9)

Baba, T.\*1, Touchi, A.\*1, Yamaguchi, Y.\*1, Ito, K.\*2, Yamazoe, Y.\*3, Sugiyama, Y.\*4 and Ohno, Y.: **Is only unbound drug available for metabolism and enzyme inhibition?**

International Symposium on Serum Albumin and  $\alpha$  1-acid Glycoprotein (2000.10)

\*1 塩野義製薬

\*2 北里大学

\*3 東北大学

\*4 東京大学

戸内 明\*1, 山口嘉隆\*1, 馬場隆彦\*1, 伊藤清美\*2, 山添 康\*3, 杉山雄一\*4, 大野泰雄: 非結合型濃度だけで *in vitro* 代謝反応や酵素阻害を説明できるのか?

日本薬物動態学会 (2000.10)

\*1 塩野義製薬

\*2 北里大学

\*3 東北大学

\*4 東京大学

大野泰雄: 薬物相互作用ガイドランスについて 1, イントロダクション・国際対応の面から

日本薬物動態学会フォーラム (2000.10)

Baba, T.\*1, Touchi, A.\*1, Yamaguchi, Y.\*1, Ito, K.\*2, Yamazoe, Y.\*3, Sugiyama, Y.\*4 and Ohno, Y.: **Can *in vitro* metabolism and enzyme inhibition be explained by unbound drug concentration?**

North American ISSX meeting (2000.10)

\*1 塩野義製薬

\*2 北里大学

\*3 東北大学

\*4 東京大学

Ohno, Y.: **Do we need quality control of drug interaction studies?**  
EUCEP (2000.11)

Ohno, Y.: **GLP regulation of Pharmacokinetic and Toxicokinetic Studies for Drug Development in Japan**

North American ISSX meeting (2000.10)

大野泰雄: 創薬とその開発過程における薬理学の役割, 医薬品の薬理作用と薬物動態の位置づけ

第 74 回日本薬理学会 (2001.3)

Inoue, K. and Koizumi, S.: **Mechanism of the inhibitory action of ATP in hippocampus**

The Purines 2000, International Symposium of Nucleosides and Nucreotides. Madrid (2000.7)

井上和秀, 津田 誠, 小泉修一: ATP 受容体と痛み

第 21 回鎮痛薬・オピオイドペプチドシンポジウム (2000.8)

井上和秀: ATP 受容体・オーバービュー

第 4 回 ATP 研究会 (2000.8)

Inoue, K.: **Independent signaling pathways in ATP-evoked secretion of plasminogen and cytokines from microglia**

1st International Workshop on Nucleotides and their Receptors in the Immune System (2000.9)

井上和秀: ATP受容体の脳内生理機能・オーバービュー  
第43回日本神経化学会シンポジウム (2000.9)

井上和秀: ATPと痛み  
第7回創薬を目指した生理活性物質研究会 (2000.10)

井上和秀, 重本由香里, 小泉修一, 津田 誠, 大沢圭子\*, 高坂新一\*: **ミクログリアでのATP誘発IL-6放出**

第74回日本薬理学会年会 (2001.3)

\*国立精神神経センター

高坂新一\*, 本田静世\*, 佐々木洋\*, 金沢裕子\*, 大沢圭子\*, 今井嘉紀\*, 井上和秀: **ATPによるミクログリア遊走性の亢進**

第74回日本薬理学会年会 (2001.3)

\*国立精神神経センター

Koizumi, S., Kita, A., Tsuda, M. and Inoue, K.: **Imaging of inhibition by ATP of glutamatergic synaptic activity in cultured hippocampal neurons with FM1-43**

Purine 2000 International Meeting (2001.7)

小泉修一, 重本由香里, 津田 誠, 井上和秀: **培養海馬アストロサイトにおいて内因性ATPにより惹起されるCa<sup>2+</sup>シグナルの性質**

第23回日本神経科学学会大会 (2000.9)

小泉修一, 井上和秀: **中枢神経系P2受容体の機能**  
第43回日本神経化学会大会 (シンポジウム) (2000.10)

Koizumi, S., Lipp, P.\*, Berridge, M.J.\*, Bootman, M.D.\* and Inoue, K.: **Regulation of ryanodine receptor opening by luminal Ca<sup>2+</sup> underlies quantal Ca<sup>2+</sup> release in PC12 cells**

Society for Neuroscience 29th Annual Meeting (2000.11)

\* The Babraham Institute, Cambridge, U.K.

小泉修一, 井上和秀: **アストログリアのATP誘発Ca<sup>2+</sup>動態**  
第74回日本薬理学会年会 (2001.3)

小泉修一, 津田 誠, 重本由香里, 小濱とも子, 井上和秀: **ラット後根神経節細胞のP2Y受容体の解析**

第74回日本薬理学会年会 (2001.3)

津田 誠, 井上和秀:  **$\alpha$ ,  $\beta$ -methylene ATP誘発mechanical allodyniaの末梢および脊髄における発症機序の解析**

第74回日本薬理学会年会 (2001.3)

Nakazawa, K., Ohno, Y., North, R.A.\* and Surprenant, A.\*: **Amino acid substitutions which alter the calcium permeability of P2X2 receptors**

Purines 2000: Biochemical, Pharmacological and Clinical Per-

spectives (2000.7)

\* The University of Sheffield

Sato, K., Nakazawa, K., Matsuki, N.\* and Ohno, Y.: **The effect of estrogen and the related compounds on the neuronal survival in the organotypic hippocampal culture**

The 30th Annual Meeting of Society for Neuroscience (2000.11)

\*東京大学薬学部

中澤憲一, 大野泰雄: **アフリカツメガエル卵母細胞発現系の毒性評価への応用**

第14回日本動物実験代替法学会 (2000.11)

佐藤 薫, 中澤憲一, 松木則夫\*, 大野泰雄: **エストロゲンおよびその類縁物質のCA3-苔上線維シナプスに対する作用**

第74回日本薬理学会年会 (2001.3)

\*東京大学薬学部

中澤憲一, 大野泰雄: **EGFP連結型P2X2受容体の作製と発現**  
第74回日本薬理学会年会 (2001.3)

小澤正吾: **第II相薬物代謝酵素の遺伝子多型と疾病感受性・薬物感受性との関連**

第27回日本トキシコロジー学会ワークショップ (2000.6)

石田誠一, Nevins, J.R.\*: **誘導される遺伝子群から見たE2Fの細胞周期における役割**

第59回日本癌学会総会 (2000.10)

\* Duke University Medical Center, USA.

Ui, A.\*, Sato, Y.\*, Onoda, F.\*, Miyajima, A., Seki, M.\* and Enomoto, T.\*: **Sgs1 acts together with Top3 in DNA repair and suppression of hyper recombination**

第23回日本分子生物学会年会 (2000.12)

\*東北大学

嶋田 薫\*, 松浦友美\*, 大野泰雄, 簾内桃子, 馬場隆彦\*, 戸内 明\*, 泉 高司\*, 繁原英治\*, 吉村義信\*, 青山英嗣\*, 岡崎 治\*, 大川原 聡\*, 石谷祥彦\*, 中川俊人\*, 有馬德行\*, 藤崎 浩\*: **臨床試験の予見性を高めるための, ヒト組織を用いた医薬品の安全性・有効性評価法の確立に関する研究(1) 凍結ヒト肝細胞を用いた薬物代謝評価法の検討**

日本薬物動態学会 (2000.10)

\*日本製薬工業協会

吉村義信\*, 青山英嗣\*, 大野泰雄, 簾内桃子, 馬場隆彦\*, 桐田史朗\*, 三浦慎一\*, 繁原英治\*, 嶋田 薫\*, 村瀬茂夫\*, 岡崎 治\*, 大川原 聡\*, 石谷祥彦\*, 中川俊人\*, 有馬德行\*, 藤崎 浩\*: **臨床試験の予見性を高めるための, ヒト組織を用いた医薬品の安全性・有効性評価法の確立に関する研究(2) 非凍結ヒト肝細胞を用いた薬物代謝酵素の誘導評価法の検討**

日本薬物動態学会 (2000.10)

\*日本製薬工業協会

紅林秀雄, 別井弘始, 川原信夫, 佐竹元吉, 大野泰雄: **ビスフェノールAのラットにおける代謝物の検討**

## 第 3 回日本内分泌攪乱化学物質学会 (2000.12)

紅林秀雄, 大野泰雄: ゴム老化防止剤 2-mercaptobenzimidazole(MBI)のヒト肝ミクロソーム酵素系での代謝と阻害作用  
日本薬学会第 121 年会 (2001.3)

満長克祥\*, 二階堂保\*, 宇佐見 誠, 大野泰雄: BIACORE バイオセンサーによる化学物質とエストロゲン受容体との結合の測定  
日本薬学会第 121 年会 (2001.3)

\* 東邦大学

中島幹夫\*, 佐々木眞敬\*, 小林洋四郎\*, 宇佐見 誠, 大野泰雄: インジウムにより誘発されるラット尾部奇形発現機序に関する検討  
第 40 回日本先天異常学会学術集会 (2000.7)

\*旭化成工業株式会社ライフサイエンス総合研究所

宇佐見 誠, 大野泰雄: ラット培養胚の発育に及ぼすウサギ補体成分 C3 の効果に関する研究  
第 40 回日本先天異常学会学術集会 (2000.7)

西川秋佳, 古川文夫, 広瀬雅雄: タバコ煙によるラット MeIQx 誘発がんの促進と CYP1A2 の誘導  
第 89 回日本病理学会総会 (2000.4)

古川文夫, 西川秋佳, 阿部 寛\*, 高橋道人, 須田耕一\*, 広瀬雅雄: 合成ソマトスタチンの自然発症肺炎ラットに対する病理組織学的検討  
第 89 回日本病理学会総会 (2000.4)

\*順天堂大学

安原加壽雄, 三森国敏, 竹川 潔\*, 糀谷高敏, 小野寺博志, 高木久宜, 広瀬雅雄: Xylazine および代謝物 2,6-dimethylaniline のラット甲状腺発癌プロモーション作用とそのメカニズム  
第 129 回日本獣医学会 (2000.4)

\*吉富製薬

高木久宜, 三森国敏, 小野寺博志, 安原加壽雄, 田村 啓, 那須昌弘\*, 広瀬雅雄: 補骨子抽出物の精巢毒性発現機序に関する研究  
第 27 回日本トキシコロジー学会学術年会 (2000.6)

\*パナファーム・ラボラトリーズ

小野寺博志, 三森国敏, 高木久宜, 安原加壽雄, 田村啓, 広瀬雅雄, 玉置憲一\*, 野村達次\*: p53(+/-)C57BL/6 および p53(+/-)CBA マウスにおけるphenolphthaleinの発がん感受性  
第 27 回日本トキシコロジー学会学術年会 (2000.6)

\*実験動物中央研究所

宮内 慎, 西川秋佳, 古川文夫, 中村英明, 孫 和永, 内田浩二\*, 広瀬雅雄: 四塩化炭素投与によるアクロレイン修飾蛋白の経時変化と N-acetylcysteine の影響  
第 27 回日本トキシコロジー学会学術年会 (2000.6)

\*名古屋大学

中村英明, 西川秋佳, 古川文夫, 宮内 慎, 孫 和永, 広瀬雅雄: LEGラットの肝及び腎傷害に対する抗酸化物質の影響  
第 27 回日本トキシコロジー学会学術年会 (2000.6)

安原加壽雄, 三森国敏, 糀谷高敏, 小野寺博志, 高木久宜, 田村 啓, 広瀬雅雄: rasH2 マウスにおける t-Butylhydroquinone の単独投与ないし亜硝酸との併用投与による前胃粘膜への影響  
第 27 回日本トキシコロジー学会学術年会 (2000.6)

田村 啓, 三森国敏, 安原加壽雄, 小野寺博志, 高木久宜, 那須昌弘\*, 広瀬雅雄: DHPN 単回投与ラットにおける甲状腺および精巢毒性の初期変化  
第 27 回日本トキシコロジー学会学術年会 (2000.6)

\*パナファーム・ラボラトリーズ

中村英明, 古川文夫, 西川秋佳, 宮内 慎, 今沢孝喜, 広瀬雅雄: Tocotrienol の F344 ラットを用いた 13 週間亜慢性毒性試験  
第 6 回日本食品化学学会総会 (2000.6)

仁保直子, 田村 啓, 豊田和弘, 畝山智香子, 高橋則行, 渋谷 淳, 広瀬雅雄: キチンのラットにおける 13 週亜慢性毒性試験  
第 6 回日本食品化学学会総会 (2000.5)

宮内 慎, 古川文夫, 西川秋佳, 中村英明, 今沢孝喜, 広瀬雅雄: オレンジ色素の F344 ラットを用いた 13 週間亜慢性毒性試験  
第 6 回日本食品化学学会総会 (2000.6)

古川文夫, 西川秋佳, 広瀬雅雄: ラット自然発生 aberrant crypt foci の生物学的意義に関する検討  
第 11 回日本消化器癌発生学会総会 (2000.9)

西川秋佳, 古川文夫, 鈴木孝昌, 小原有弘, 林 真, 広瀬雅雄: p53 ヘテロ欠損マウスを用いた MeIQx の発がん分子機構の解析  
第 11 回日本消化器癌発生学会総会 (2000.9)

小出彰宏\*, 森 幸雄\*, 西川秋佳, 古川文夫, 広瀬雅雄: 喫煙(GS)の環境発癌物質の代謝活性化に対する影響  
第 59 回日本癌学会総会 (2000.10)

\*岐阜薬科大学

西川秋佳, 佐井君江, 古川文夫, 孫 和永, 木苗直秀\*, 井上 達, 黒川雄二, 広瀬雅雄: 水道水汚染物質 MX によるギャップ結合細胞間連絡阻害  
第 59 回日本癌学会総会 (2000.10)

\*静岡県立大学

高橋則行, 渋谷 淳, 畝山智香子, 豊田和弘, 仁保直子, 榊富直哉, 西川秋佳, 広瀬雅雄: ラット肝二段階発がんモデルを用いたフェノバタールプロモーション初期に特異的に発現する遺伝子の検索  
第 59 回日本癌学会総会 (2000.10)

渋谷 淳, 高橋則行, 畝山智香子, 豊田和弘, 仁保直子, 榎富直哉, 広瀬雅雄: ペルオキシゾーム増生剤投与によりラット肝臓に特異的に誘導される NOS2-immunoreactive な 80KD タンパク質の発現について

第 59 回日本癌学会総会 (2000.10)

池田尚子\*, 西川秋佳, 孫 和永, 中村英明, 宮内 慎, 今沢孝喜, 木村修一\*, 広瀬雅雄: 大豆過剰摂取とヨード欠乏との相乗的甲状腺発がん促進効果

第 59 回日本癌学会総会 (2000.10)

\*昭和女子大学

鈴木周五\*, 朝元誠人\*, 今井田克己\*, 高橋 智\*, 広瀬雅雄, 白井智之\*: ラット中期肝発がんモデルにおける harman, norharman および NaNO<sub>2</sub> と MeIQx との相互作用

第 59 回日本癌学会総会 (2000.10)

\*名古屋市立大学

孫 和永, 西川秋佳, 池田尚子\*, 今沢孝喜, 中村英明, 古川文夫, 広瀬雅雄: 卵巣摘出ラットを用いた DHPN 甲状腺腫瘍誘発モデルにおける内分泌攪乱物質の影響

第 59 回日本癌学会総会 (2000.10)

\*昭和女子大学

今沢孝喜, 西川秋佳, 池田尚子\*, 中沢英子\*, 曾根秀子\*, 古川文夫, 中村英明, 広瀬雅雄: LEC ラット肝細胞における銅の蓄積とメタロチオネインの分布に関する電顕的検討

第 59 回日本癌学会総会 (2000.10)

\*1 昭和女子大学

\*2 日立サイエンスシステムズ

\*3 国立環境研究所

安原加壽雄, 三森国敏, 糀谷高敏, 小野寺博志, 高木久宜, 田村 啓, 瀧澤 保, 野村達次\*, 広瀬雅雄: p53 ヘテロ欠陥マウスにおける 2,6-dimethylaniline(DNA) の発癌感受性

第 59 回日本癌学会総会 (2000.10)

\*実験動物中央研究所

小野寺博志, 三森国敏, 高木久宜, 安原加壽雄, 田村 啓, 瀧澤 保, 広瀬雅雄: N-Ethyl-N-nitrosourea(ENU) 投与 CBA マウスにおける ethinylestradiol(EE) の発がん性

第 59 回日本癌学会総会 (2000.10)

宮内 慎, 西川秋佳, 古川文夫, 中村英明, 孫 和永, 山岸 恵, 広瀬雅雄: 抗酸化剤と亜硝酸の併用投与による MNNG 誘発ラット胃発癌に及ぼす影響

第 59 回日本癌学会総会 (2000.10)

三森国敏, 小野寺博志, 高木久宜, 安原加壽雄, 田村 啓, 瀧澤 保, 広瀬雅雄: ラット甲状腺増殖性病変に対する内分泌攪乱物質 (EDC) の発癌修飾作用

第 59 回日本癌学会総会 (2000.10)

高木久宜, 三森国敏, 小野寺博志, 安原加壽雄, 田村 啓, 瀧澤 保, 広瀬雅雄: ラット乳腺二段階発癌モデルを用いた内分泌攪乱化学物質の乳腺発癌修飾作用

第 59 回日本癌学会総会 (2000.10)

畝山智香子, 渋谷 淳, 豊田和弘, 高橋則行, 仁保直子, 榎富直哉, 広瀬雅雄: メタカーン固定パラフィン包埋切片からの多目的な遺伝子発現解析 (第二報)

第 59 回日本癌学会総会 (2000.10)

山岸 恵, 中村英明, 宮内 慎, 孫 和永, 古川文夫, 西川秋佳, 広瀬雅雄: IP6, Myoinositol の MeQx 肝発がんおよび雌ラット多臓器発がんに対する修飾作用

第 59 回日本癌学会総会 (2000.10)

古川文夫, 西川秋佳, 宮内 慎, 中村英明, 孫 和永, 村上 明\*, 高橋保男\*, 広瀬雅雄: Auraptene のハムスター BOP 降発癌イニシエーション期における効果

第 59 回日本癌学会総会 (2000.10)

\*1 近畿大学

\*2 和歌山県農産物加工研究所

高木功子\*, 玉野静光\*, 萩原秋裕\*, 今井田克己\*, 中西 巧\*, 広瀬雅雄, 白井智之\*: アミンと亜硝酸とアスコルビン酸による発がん修飾効果

第 59 回日本癌学会総会 (2000.10)

\*1 大雄会医学研究所

\*2 名古屋市立大学

中村英明, 西川秋佳, 古川文夫, 宮内 慎, 孫 和永, 山岸 恵, 村上 明\*, 高橋保男\*, 広瀬雅雄: 1'-Acetoxychavicol acetate 及び auraptene による MNNG 誘発ラット腺胃発癌の抑制

第 59 回日本癌学会総会 (2000.10)

\*1 近畿大学

\*2 和歌山県農産物加工研究所

李 仁善\*, 韓 貞\*, 輩 玉錫\*, 古川文夫, 西川秋佳, 広瀬雅雄: 韓国産茸 *Polyozellus multiplex* による胃発がん予防効果の検討

第 59 回日本癌学会総会 (2000.10)

\*韓国啓明大学

吉野裕子\*, 河部真弓\*, 佐野真士\*, 宮下嘉代子\*, 市原敏夫\*, 宮崎 淳\*, 奥山治美\*, 広瀬雅雄, 白井智之\*: 中期多臓器発癌性試験法による菜種油とサンフラワー油の全身諸臓器発癌修飾作用の比較

第 59 回日本癌学会総会 (2000.10)

\*1 大雄会医科学研究所

\*2 名古屋市立大学

渋谷 淳, 高橋則行, 畝山智香子, 小林恒雄, 仁保直子, 榎富直哉, 西川秋佳, 広瀬雅雄: ラット肝二段階発がんモデルを用いたフェノバルビタールプロモーション時期に発現する遺伝子の検索

第 130 回日本獣医学会学術集会 (2000.10)

田村 啓, 三森国敏, 安原加壽雄, 小野寺博志, 高木久宜, 瀧澤 保, 広瀬雅雄: ヒトプロト型 c-Ha-ras 遺伝子導入

(rasH2) マウスにおける urethane 誘発肺発がんに対する eu-  
genol の修飾作用

第59回日本癌学会総会 (2000.10)

奈良間 功\*<sup>1</sup>, 今井田克己\*<sup>2</sup>, 岩田 聖\*<sup>3</sup>, 中江 大\*<sup>4</sup>, 西川  
秋佳, 原田孝則\*<sup>5</sup>: ラットにおける肝増殖性病変の分類, 用  
語および診断基準の統一化

第1回日本毒性病理学会教育セミナー (2000.11)

\*<sup>1</sup> 摂南大学

\*<sup>2</sup> 名古屋市立大学

\*<sup>3</sup> 食品農薬薬品安全性評価センター

\*<sup>4</sup> 奈良県立医科大学

\*<sup>5</sup> 残留農薬研究所

西川秋佳: 食品添加物の安全性試験に関する国際的な動向  
日本食品化学会第11回食品化学シンポジウム (2000.11)

田村 啓, 三森国敏\*<sup>1</sup>, 小野寺博志, 那須昌弘\*<sup>2</sup>, 高木久宜,  
安原加壽雄, 上田 誠, 鈴木勝士\*<sup>3</sup>, 広瀬雅雄: ラット甲状腺  
二段階発癌モデルにおける麩酸のイニシエーション期投  
与の影響

第17回日本毒性病理学会 (2001.1)

\*<sup>1</sup> 東京農工大学

\*<sup>2</sup> パナファーム・ラボラトリーズ

\*<sup>3</sup> 日本獣医畜産大学

高木久宜, 三森国敏\*<sup>1</sup>, 小野寺博志, 森安眞津子\*<sup>2</sup>, 那須昌  
弘\*<sup>2</sup>, 安原加壽雄, 田村 啓, 広瀬雅雄: 卵巣摘出ラットに  
おける甲状腺発癌に対する Estradiol benzoate ないし内分泌  
攪乱物質の修飾作用

第17回日本毒性病理学会 (2001.1)

\*<sup>1</sup> 東京農工大学

\*<sup>2</sup> パナファーム・ラボラトリーズ

渋谷 淳, 阿部直子\*, 畠山智香子, 中川恵子, 榎富直哉, 仁  
保直子, 高橋則行, 小林恒雄, 広瀬雅雄: メタカーン固定材  
料を用いた遺伝子産物の定量的発現解析及び遺伝子配列解  
析について

第17回日本毒性病理学会 (2001.1)

\*旭テクノグラス

榎富直哉, 渋谷 淳, 畠山智香子, 中川恵子, 阿部直子\*, 仁  
保直子, 高橋則行, 小林恒雄, 広瀬雅雄: エストラジオール  
周産期曝露による新生仔視床下部における遺伝子発現の変  
化及び性成熟後の内分泌関連器官の影響について

第17回日本毒性病理学会 (2001.1)

\*旭テクノグラス

中村英明, 西川秋佳, 古川文夫, 豊田和弘\*<sup>1</sup>, 宮内 真, 孫  
和永, 山岸 恵, 江下希美\*<sup>2</sup>, 広瀬雅雄: Catechol及びBHA  
のカニユーレを用いた経十二指腸投与によるラット前胃及  
び腺胃の増殖活性への影響

第17回日本毒性病理学会 (2001.1)

\*<sup>1</sup> 日本タバコ産業

\*<sup>2</sup> ボゾリサーチセンター

小林恒雄, 渋谷 淳, 高橋則行, 畠山智香子, 榎富直哉, 仁  
保直子, 広瀬雅雄: Peroxisome proliferator 特異的にラット肝  
臓で発現する iNOS-immunoreactive 80 kDa peptide について  
第17回日本毒性病理学会 (2001.1)

古川文夫, 西川秋佳, 孫 和永, 宮内 真, 中村英明, 広瀬  
雅雄: ハムスター BOP 中期腺発がんモデルの検討

第17回日本毒性病理学会 (2001.1)

小野寺博志, 三森国敏\*, 高木久宜, 田村 啓, 安原加壽雄,  
上田 誠, 広瀬雅雄: ENU と ethinylestradiol 投与による  
p53(+/-)CBA マウスと長期飼育 CBA マウスでの子宮発癌感  
受性の違い

第17回日本毒性病理学会 (2001.1)

\*東京農工大学

上田 誠, 三森国敏\*<sup>1</sup>, 小野寺博志, 高木久宜, 安原加壽雄,  
瀧澤 保, 広瀬雅雄: ENU 誘発子宮発癌 rasH2 マウスモデ  
ルにおける nonylphenol および ethinylestradiol 投与の影響  
第17回日本毒性病理学会 (2001.1)

\*<sup>1</sup> 東京農工大学

瀧澤 保, 三森国敏\*, 田村 啓, 安原加壽雄, 小野寺博志,  
高木久宜, 上田 誠, 広瀬雅雄: rasH2 マウスにおける ENU  
により誘発された前胃腫瘍に対する t-butylhydroquinone と  
亜硝酸ナトリウム併用投与の影響

第17回日本毒性病理学会 (2001.1)

\*東京農工大学

安原加壽雄, 三森国敏\*<sup>1</sup>, 糀谷高敏, 小野寺博志, 高木久宜,  
瀧澤 保, 林 裕造\*<sup>2</sup>, 広瀬雅雄: rasH2 マウスにおける NNK  
誘発肺発癌に対する cinnamaldehyde の抑制作用  
第17回日本毒性病理学会 (2001.1)

\*<sup>1</sup> 東京農工大学

\*<sup>2</sup> 北里大学

山岸 恵, 西川秋佳, 孫 和永, 岡崎和志, 今沢孝喜, 古川  
文夫, 広瀬雅雄: 水道水消毒副生成物MXの甲状腺発がん  
に及ぼす影響

第17回日本毒性病理学会 (2001.1)

Son, H-Y., Nisikawa, A., Yamagishi, M., Okazaki, K., Imazawa,  
T., Furukawa, F. and Hirose, M.: Synergistic effects of caffeine  
with iodine deficiency on the development of thyroid prolifera-  
tive lesions in rats

第17回日本毒性病理学会 (2001.1)

糀谷高敏, 三森国敏\*, 安原加壽雄, 小野寺博志, 高木久宜,  
田村 啓, 広瀬雅雄: 短期ラット二段階鼻腔発癌モデル確立  
のためのイニシエーターの検討

第17回日本毒性病理学会 (2001.1)

\*東京農工大学

高橋則行, 渋谷 淳, 小林恒雄, 榎富直哉, 仁保直子, 広瀬  
雅雄: ラット肝中期発がん性試験法でのプロモーション過  
程に発現が変動する遺伝子の解析について

## 第17回日本毒性病理学会 (2001.1)

豊沢かおる\*<sup>1</sup>, 三森国敏\*<sup>2</sup>, 安原加壽雄, 糀谷高敏, 松岡信男\*<sup>1</sup>, 広瀬雅雄: **Ethyl nitrosourea(ENU)により rasH2 マウスに誘発された腫瘍の導入遺伝子の過剰発現**

## 第17回日本毒性病理学会 (2001.1)

\*<sup>1</sup> 大日本製薬\*<sup>2</sup> 東京農工大学

仁保直子, 渋谷 淳, 畝山智香子, 榊富直哉, 中川恵子, 高橋則行, 小林恒雄, 関田節子, 広瀬雅雄: **モノクロタリン誘発マウス肺傷害モデルに対する小柴胡湯と IFN- $\alpha$  の修飾作用の検討**

## 第17回日本毒性病理学会 (2001.1)

畝山智香子, 渋谷 淳, 中川恵子, 武吉正博\*<sup>1</sup>, 榊富直哉, 仁保直子, 高橋則行, 小林恒雄, 岡崎修三\*<sup>2</sup>, 一鬼 勉\*<sup>3</sup>, 広瀬雅雄: **4-nonylphenol および methoxychlor のラット28日間反復経口投与による  $\alpha$  2u-globulin の肝での発現及び腎蓄積量の解析**

## 第17回日本毒性病理学会 (2001.1)

\*<sup>1</sup> 化学物質評価研究機構\*<sup>2</sup> ボゾリサーチセンター\*<sup>3</sup> パナファーム・ラボラトリーズ

今沢孝喜, 小野寺博志, 小野景義, 樋口行人\*<sup>1</sup>, 池田尚子\*<sup>2</sup>, 西川秋佳, 佐竹元吉, 広瀬雅雄: **ゲンタマイシン誘発腎毒性に対する七物降下湯の抑制効果**

## 第17回日本毒性病理学会 (2001.1)

\*<sup>1</sup> 東亜大学\*<sup>2</sup> 昭和女子大学

Imazawa, T., Nishikawa, A., Toyoda, K.\*<sup>1</sup>, Furukawa, F., Uneyama, C., Ikeda, T.\*<sup>2</sup>, Takahashi, M. and Hirose, M.: **Alteration of cell proliferation, apoptosis and p53 protein in the exocrine pancreas of rats treated with 4-hydroxyaminoquinoline 1-oxide**

## 40th Annual Meeting of Society of Toxicology (2001.3)

\*<sup>1</sup> Japan Tobacco Inc.\*<sup>2</sup> Showa Woman's University

Son, H-Y., Nishikawa, A., Furukawa, F., Hirose, M.: **Organ-dependent modifying effects of oltipraz and 4-phenylbutyl isothiocyanate on N-nitrosobis (2-oxopropyl) -amine (BOP) initiated tumorigenesis in hamsters.**

## 40th Annual Meeting of Society of Toxicology (2001.3)

Takizawa, T., Mitsumori, K.\*<sup>1</sup>, Takagi, H., Onodera, H., Yasuhara, K. and Hirose, M.: **Mechanistic studies of testicular toxicity of Psoralea corylifolia extract in rats**

## 40th Annual Meeting of Society of Toxicology (2001.3)

\*<sup>1</sup> Tokyo University of Agriculture and Technology

Shibutani, M., Uneyama, C., Masutomi, N., Abe, N.\*<sup>1</sup>, Takahashi, N., Nakagawa, K., Hirose, M.: **Dose-response study of perinatally exposed ethinylestradiol on the expression of ERE-containing genes in the SDN-POA of neonatal rats.**

## 40th Annual Meeting of Society of Toxicology (2001. 3)

\* Asahi Techno Glass Co.

Uneyama, C., Shibutani, M., Nakagawa, K., Masutomi, N., Takahashi, M., Hirose, M.: **Methacarn, a fixation tool for multi-purpose gene expression analysis from paraffin-embedded tissues.**

## 40th Annual Meeting of Society of Toxicology (2001. 3)

Nishikawa, A., Ikeda, T.\*<sup>1</sup>, Son, H-Y., Imazawa, T., Kimura, S. and Masao Hirose: **Synergistic promotion effects of excess soybean and deficient iodine on DHPN-induced thyroid tumorigenesis in rats.**

## 92nd Annual Meeting of American Association for Cancer Research (2001.3)

\* Showa Woman's University

林 真: **In vitro 染色体異常試験結果の定量的評価**

## 第14回日本動物実験代替法学会大会 (2000.11)

浜田修一\*<sup>1</sup>, 並木千晶\*<sup>1</sup>, 茎田憲一\*<sup>1</sup>, 山崎賢一\*<sup>2</sup>, 中西 聡\*<sup>2</sup>, 中島一男\*<sup>2</sup>, 芹川忠夫\*<sup>2</sup>, 林 真: **ラットを用いた小核試験法の検討**

## 日本環境変異原学会第29回大会 (2000.11)

\*<sup>1</sup> エスエス製薬(株)\*<sup>2</sup> 京都大学医学部林 真: **今、私の考える環境変異原とは; 21世紀に向けて一正しく怖がるために一**

## 日本環境変異原学会第29回大会 (2000.11)

高井明徳\*<sup>1</sup>, 石川 卓\*<sup>2</sup>, 上野紘一\*<sup>3</sup>, 中室克彦\*<sup>4</sup>, 奥野智史\*<sup>4</sup>, 上野 仁\*<sup>4</sup>, 渡部由美\*<sup>1</sup>, 北野雅昭\*<sup>5</sup>, 祖父尼俊雄\*<sup>6</sup>, 林 真: **魚類を用いる小核試験およびAmes試験による都市河川の汚染モニタリングー3**

## 日本環境変異原学会第29回大会 (2000.11)

\*<sup>1</sup> 大阪信愛短大\*<sup>2</sup> 三重大学生物資源学部\*<sup>3</sup> 近畿大学農学部\*<sup>4</sup> 摂南大学薬学部\*<sup>5</sup> 大阪市環境科学研究所\*<sup>6</sup> オリパス光学工業(株)

浜田修一\*<sup>1</sup>, 茎田憲一\*<sup>1</sup>, 中島一男\*<sup>2</sup>, 芹川忠夫\*<sup>2</sup>, 林 真: **ラット小核試験における加齢の影響系**

## 日本環境変異原学会第29回大会 (2000.11)

\*<sup>1</sup> エスエス製薬\*<sup>2</sup> 京都大学医学部

Nishikawa, T.\*<sup>1</sup>, Haresaku, M.\*<sup>1</sup>, Fukushima, A.\*<sup>1</sup>, Nakamura,\*<sup>1</sup>, Adachi, K.\*<sup>1</sup>, and Hayashi, M.: **Study of a skin in vivo micro-nucleus test**

## 32nd Annual Meeting of USEMS (2001.3)

\*<sup>1</sup> Lion Corporation後藤佐智子\*<sup>1</sup>, Gordon A.\*<sup>1</sup>, 森本茂子\*<sup>1</sup>, 泉 雅子\*<sup>1</sup>, 本間正

充, 渡辺正巳<sup>\*2</sup>, 谷田貝文夫<sup>\*1</sup>: ほ乳類細胞における二重鎖切断修復機構へのp53蛋白の寄与

日本放射線影響学会第43回大会 (2000.8)

<sup>\*1</sup> 理化学研究所

<sup>\*2</sup> 長崎大学薬学部

本間正充: ほ乳類細胞および動物個体を用いる遺伝子突然変異試験

中国医薬品安全性評価管理センター日中友好プロジェクト遺伝毒理セミナー (2000.10)

Honma, M.: **Recombinational DNA repair and maintenance of genomic integrity mediated by p53.**

5th International Symposium on Predictive Oncology and Therapy (2000.10)

本間正充: p53の組換えを介した遺伝的安定化機構に関する研究

日本環境変異原学会第29回大会 (2000.11)

田所 聡, 本間正充, 松岡厚子, 坂本浩子, 佐藤三佐子\*, 杉本正信\*, 古市泰宏\*, 林 真: 早期老化症患者由来Bリンパ球細胞株の核誘発性と染色体不安定性

日本環境変異原学会第29回大会 (2000.11)

\*エイジーン研究所

森本茂子\*, 加藤武司\*, 泉 雅子\*, 福西暢尚\*, 本間正充, 花岡文雄\*, 谷田貝文夫\*: 低線量中粒子照射によるヒト細胞での細胞応答

第23回日本分子生物学会年会 (2000.12)

\*理化学研究所

本間正充: 遺伝毒性試験におけるマウスリンフォーマ試験の有用性—その特徴と実際—

第2回中日医薬品安全性評価学術シンポジウム (2001.3)

谷田貝文夫\*, 森本茂子\*, 加藤武司\*, 後藤佐智子\*, 本間正充: **Cellular response and genetic consequences after IR exposure.**

放射線障害の可視化に関する国際ワークショップ (2001.3)

\*理化学研究所

大森 崇, 本間正充, 林 真, 吉村功\*: マウスリンフォーマ試験のデータ解析法

応用統計学会・日本計量生物学会2001年度合同年次大会 (2001.4)

\*東京理科大学

Matsuoka, A., Tada, A., Nukaya, H., Terao, Y., Önfelt, A., Wachtmeister, C.A., and Wakabayashi, K.: **Cytogenetic activities of water pollutants PBTAs and their presumed mother compounds AZO DYES**

The 30th annual meeting of European Environmental Mutagen Society (2000.8)

<sup>\*1</sup> 国立がんセンター

<sup>\*2</sup> 静岡県立大学

<sup>\*3</sup> Wallenberg Laboratory, Stockholm University, Sweden

松岡厚子, 多田敦子<sup>\*1</sup>, 寺尾良保<sup>\*2</sup>, 糠谷東雄<sup>\*2</sup>, 若林敬二<sup>\*1</sup>: 河川水中の変異原物質PBTA類, アゾ色素およびPBTA誘導体の細胞遺伝学的研究

日本環境変異原学会第29回大会 (2000.11)

<sup>\*1</sup> 国立がんセンター

<sup>\*2</sup> 静岡県立大学

松岡厚子, 古田鮎美\*, 尾崎正康\*, 福原潔, 宮田直樹: 葡萄中天然抗酸化物質レスベラトロールの細胞遺伝学的研究

日本環境変異原学会第29回大会 (2000.11)

\*ボゾリサーチセンター(株)

鈴木孝昌: 遺伝子解析技術の進歩と Toxicogenomics

ゲノム創薬フォーラム “Pharmacogenomics/SNP/DNA アレイ” (2000.4)

Suzuki, T., Kohara, A., Wang, X., Honma, M., Hayashi, M. **λCI gene is useful for sequence analysis in the transgenic mouse mutation assays**

2000 Environmental Mutagen Society Annual Meeting (2000.4)

鈴木孝昌: **Toxicogenomics の最近の話題**

JEMS・MMS研究会第37回定例会 (2000.6)

Suzuki, T., Kohara, A., Wang, X., Honma, M., Sofuni, T., Hayashi, M.: **Mutagenicity and mutation spectra of various antitumor agents in the Muta<sup>TM</sup> Mouse**

The 30th Annual Meeting of the European Environmental Mutagen Society (2000.8)

鈴木孝昌, 小原有弘, 西川秋佳, 古川文夫, 広瀬雅雄, 本間正充, 林 真: がん細胞における遺伝的不安定性とp53遺伝子-p53ヘテロノックアウトBig Blueマウスを使った検討—第59回日本癌学会総会 (2000.10)

小原有弘, 鈴木孝昌, 大和田智彦\*, 本間正充, 林 真: ジニトロピレンによりマウスに誘発された突然変異の特徴

第59回日本癌学会総会 (2000.10)

\*名古屋市立大学薬学部

川崎健太郎<sup>\*1,2</sup>, 鈴木孝昌, 上田正登<sup>\*1</sup>, 市橋正光<sup>\*1</sup>, 山崎洋<sup>\*2,3</sup>: ミトコンドリアDNAにおける太陽光線によって誘導されるCC-TT変異と人皮膚組織に関する検討

第59回日本癌学会総会 (2000.10)

<sup>\*1</sup> 神戸大学医学部

<sup>\*2</sup> WHO国際癌研究機構・多段階発癌研究部

<sup>\*3</sup> 関西学院大学理学部

鈴木孝昌, 本間正充, 小原有弘, 坂本浩子, 林 真: DNAマイクロアレイを用いた発現解析による遺伝子傷害性の検索に関する基礎的検討

日本環境変異原学会第29回大会 (2000.11)

小原有弘, 鈴木孝昌, 王 雪, 大和田智彦\*, 本間正充, 林

真: *o*-Aminoazotolueneにより誘発される *cII*突然変異のスペクトル

日本環境変異原学会第29回大会 (2000.11)

\*名古屋市立大学薬学部

鈴木孝昌, 佐伯憲一\*, 小原有弘, 宮田裕子\*, 王 雪, 林真: 肝発がん物質キノリンは Muta™ Mouse 肝臓において G:C to C:G transversion を特異的に誘発する

日本環境変異原学会第29回大会 (2000.11)

\*名古屋市立大学薬学部

Ramadan Ali, 鈴木孝昌, 小原有弘, 本間正充, 林 真: Organ specific genotoxicity of ochratoxin A detected by single cell gel electrophoresis (Comet) assay and the micronucleus assay

日本環境変異原学会第29回大会 (2000.11)

渡海 寛\*, 田村博信\*, 近藤耕治\*, 小原有弘, 鈴木孝昌: *gpt delta* トランスジェニックマウスの有用性に関する研究: diethylnitrosamine 投与により誘発される *in vivo* 遺伝子突然変異の解析

日本環境変異原学会第29回大会 (2000.11)

\*1 日本新薬(株)

\*2 塩野義製薬(株)

白鳥 孝\*, 池田直弘\*, 大澤浩一\*, 小沢重成\*, 島田 康\*, 鈴木孝昌, 長岡貴子\*, 萩原利行\*, 島山茂樹\*, 細谷聡子\*, 吉田純一\*, 島田弘康\*: 幼若ラット肝細胞小核試験の検討 - 12 機関による同一サンプル標本の観察 -

日本環境変異原学会第29回大会 (2000.11)

\* JEMS・MMS 研究会, 多臓器小核試験, 肝臓小核グループ

浅野哲秀\*, 西川貴史\*, 中川ゆづき\*, 鈴木孝昌, 林 真: げっ歯類の皮膚組織を用いる小核試験法の開発と検証

日本環境変異原学会第29回大会 (2000.11)

\*1 日東電工(株)

\*2 ライオン(株)

\*3 (財)食品薬品安全性センター

山田勉也\*, 鈴木孝昌, 小原有弘, 竹本育世\*, 水谷隆治\*, 林真, 佐伯憲一\*: 窒素置換による Benzo[a]pyrene の *in vivo* 変異原性の抑制

日本薬学会東海支部例会 (2000.12)

\*名古屋市立大学薬学部

鈴木孝昌: 環境物質と癌の発生 - その因果関係を探る - 第64回日本皮膚科学会東京支部学術大会 (2001.2)

鈴木孝昌: *In vivo*での遺伝毒性試験: 小核試験およびトランスジェニックマウスを用いた遺伝毒性試験の手法と適用 第2回中日医薬品安全性評価学術シンポジウム (2001.3)

山田勉也\*, 鈴木孝昌, 小原有弘, 竹本育世\*, 水谷隆治\*, 林真\*, 佐伯憲一: 環境中に存在する含窒素芳香族化合物の *in vivo* 変異原性

日本薬学会第121年会 (2001.3)

\*名古屋市立大学薬学部

能美健彦: 今, 私の考える環境変異原とは; 21世紀に向けて - 私の考えるこれからの環境変異原研究 -

日本環境変異原学会第29回大会 (2000.11)

増村健一, 国谷健介\*, 星野真紀子\*, 古川文夫, 西川秋佳, 能美健彦: DMN投与後の発現時間および加齢による突然変異の誘発

日本環境変異原学会第29回大会 (2000.11)

\*1 昭和薬科大学

堀口美恵子\*, 増村健一, 能美健彦: *gpt delta* マウスで検出された塩基配列変化の特徴について

日本環境変異原学会第29回大会 (2000.11)

\*1 大妻女子大学

国谷健介\*, 増村健一, 黒部利博\*, 福岡正道\*, 谷田貝文夫\*, 日下部守明\*, 能美健彦: トランスジェニックマウス *gpt delta* を用いた重粒子線等により誘発される突然変異の解析 日本環境変異原学会第29回大会 (2000.11)

\*1 昭和薬科大学

\*2 早稲田大学

\*3 理化学研究所

松井恵子, 金秀良, 山田雅巳, 能美健彦: ベンツピレン誘発 フレームシフト突然変異に対する大腸菌DNAポリメラーゼ IV(DinB) の促進効果

日本環境変異原学会第29回大会 (2000.11)

竹入 章\*, 田中健司\*, 塩田明文\*, 上田乙也\*, 鈴木宏志\*, 三島雅之\*, 原 洋明\*, 井上 誠\*, 増村健一, 能美健彦: トランスジェニックマウス *gpt delta* の骨髄において mitomycin C により誘発された突然変異の解析

日本環境変異原学会第29回大会 (2000.11)

\*1 中外製薬

須井 哉\*, 原 巧\*, 川上久美子\*, 能美健彦, 澁谷徹\*: マウス精子における突然変異の生成機構(その2)

日本環境変異原学会第29回大会 (2000.11)

\*1 食品薬品安全センター

落合雅子\*, 飯塚祐子\*, 上田乙也\*, 鈴木宏志\*, 能美健彦, 杉村 隆\*, 中釜 齊\*: *scid* 変異の *in vivo* 突然変異への影響 - *gpt delta* トランスジェニックマウスを用いた解析

日本環境変異原学会第29回大会 (2000.11)

\*1 国立がんセンター研究所

\*2 中外製薬

兵庫淳志\*, 宇野芳文\*, 大澤浩一\*, 増村健一: *gpt delta* トランスジェニックマウスの有用性に関する研究: *N*-propyl-*N*-nitrosourea 投与により誘発される変異の解析 日本環境変異原学会第29回大会 (2000.11)

\*1 三共

\*2 三菱東京製薬

\*3 大正製薬

田村博信\*, 兵庫淳志\*, 中島 圓\*, 矢嶋信浩\*, 能美健彦:

***gpt delta* トランスジェニックマウスの有用性に関する研究:  
JEMS/MMS 共同研究**

日本環境変異原学会第29回大会 (2000.11)

\*1 日本新薬

\*2 三共

\*3 食品農医薬品安全性評価センター

\*4 雪印乳業

新村和也\*, 山口 悟\*, 齊藤貴之\*, 金 秀良, 能美健彦,  
横田 淳\*: アデニン:8-ヒドロキシグアニン塩基対に対  
する MYH 蛋白質のアデニン除去能の検討

第23回日本分子生物学会年会 (2000.12)

\*1 国立がんセンター研究所

山田雅巳, 金 秀良, 松井恵子, ピーター・グルーズ, 能美  
健彦: 大腸菌 *dinB* の突然変異体の *in vivo* および *in vitro* で  
の性状解析

第23回日本分子生物学会年会 (2000.12)

金 秀良, 松井恵子, 山田雅巳, Petr Gruz, 能美健彦: 大腸  
菌 DNA polymerase IV(DinB)による自然突然変異, 誘発突然  
変異の解析

第23回日本分子生物学会年会 (2000.12)

Petr Gruz, Masatomi Shimizu, Masami Yamada, Ikuko Hayashi\*,  
Kosuke Morikawa\*, Takehiko Nohmi: Purification and charac-  
terization of the archeal DinB homologue

第23回日本分子生物学会年会 (2000.12)

\*1 生物工学研究所

能美健彦: 大腸菌 DNA ポリメラーゼ IV(DinB)の性質につ  
いて

DNA ポリメラーゼβ研究会 (2000.6)

Kim, Su-Ryang, Matsui, K., Yamada, M., Gruz, P. and Nohmi, T.:  
Untargeted and targeted mutagenesis by DNA polymerase IV  
(DinB)

Gordon Research Conference, Mutagenesis (2001.8)

Nohmi, T.: Molecular analysis of *in vivo* mutations using  
transgenic mice *gpt delta*

Pacificchem 2000 (2000.12)

Kim, Su-Ryang, Matsui, K., Yamada, M., Gruz, P. and Nohmi, T.:  
Targeted and untargeted mutagenesis by *E. coli* DNA polymerase  
IV

International Workshop on Radiation Damage 2001: Repair, Mu-  
tagenesis and Visualization (2001.3)

Masumura, K., Matsui, K., Yamada, M., Ishida, K.\*, Watanabe,  
M.\*, Wakabayashi, K.\* and Nohmi, T.: Characterization of Mu-  
tations induced by 2-amino-1-methyl-6-phenylimidazo[4,5-  
b]pyridine (PhIP) in the colon of *gpt delta* transgenic mouse

2001 Annual Meeting of Environmental Mutagen Society (2001.3)

\*国立がんセンター研究所

Hyogo, A.\*1, Tamura, H.\*2, Nakajima, M.\*3, N. Yajima, N.\*4 and  
Nohmi, T.: A collaborative validation study of the mutagenic as-  
say using *gpt delta* transgenic mouse

40th Annual Meeting of Society of Toxicology (2001.3)

\*1 三共

\*2 日本新薬

\*3 食品農医薬品安全性評価センター

\*4 雪印乳業

Tanabe, H., Minegishi, D., Masui, T., Takada, Y., Kurematsu, M.  
and Mizusawa, H.: Identification of cultured cell lines by STR-  
PCR methods

World Congress on In Vitro Biology 2000 (2000.6)

Masui, T., Iwashita, S.\*, Takada, Y., Okado, K., Sofuni, T.,  
Hayashi, M. and Mizusawa, H.: Epithelial topoinhibition induc-  
ible-1 (*eti-1*) gene isolated from normal human epithelial cells  
induce apoptosis

World Congress on In Vitro Biology 2000 (2000.6)

\*三菱化学生命科学研究所

増井 徹, 水沢 博: 厚生省細胞バンクにおけるヒト組織・  
細胞の公的研究資源化への取り組み—ワークショップ: ヒ  
ト組織・細胞の研究資源としての取り扱い

日本組織培養学会第73回大会 (2000.9)

増井 徹, 高田容子, 林 真, 水沢 博: RCC1 リピート  
をもつ増殖停止関連遺伝子 *Eti-1* の糖修飾と細胞内局在

日本組織培養学会第73回大会 (2000.9)

増井 徹, 高田容子, 林 真, 水沢 博: 増殖停止関連  
遺伝子 *Eti-1* と *delta Eti-1* の細胞内分布

第59回日本癌学会総会 (2000.10)

増井 徹: 「ガイドライン」—シンポジウム: 組織・細胞移  
植から再生医療—医療として定着させるには

第8回組織移植医療研究会 (2000.11)

緒方英博\*, 浜村政夫\*, 一鬼 勉\*, 鎌田栄一, 長谷川隆一:  
雄ラットに見られる腎臓硝子滴変化の免疫組織化学的解析  
とその評価への適用

第27回日本トキシコロジー学会学術年会 (2000.6)

\*パナファーム

広瀬明彦, 西川秋佳, 木苗直秀\*, 長谷川隆一: 飲料水中の  
強力変異原性物質 “MX(3-Chloro-4-(dichloromethyl)-5-hy-  
droxy-2(5H)-furanone)” の毒性評価

第27回日本トキシコロジー学会学術年会 (2000.6)

\*静岡県立大学

五十嵐良明, 鎌田栄一: ホルムアルデヒドの吸入暴露による  
マウスの化学物質に対するアレルギー反応

第27回日本トキシコロジー学会学術年会 (2000.6)

宮崎玉樹, 四方田千佳子, 岡田敏史: 酸性多糖とドキシサイ  
クリンによる複合体形成とその薬物放出特性

第50回日本薬学会近畿支部大会 (2000.10)

四方田千佳子, 田頭洋子, 岡田敏史: 医薬品分析に置ける試験所間比較による技能試験—平成11年度の指定検査機関(地衛研を含む58機関)における実施結果—

第37回全国衛生化学技術協議会年会 (2000.10)

四方田千佳子: 平成11年度医薬品分析の技能試験の結果と平成12年度実施計画

日本薬剤師会技術講習会 (2000.11)

宮崎玉樹, 四方田千佳子, 岡田敏史: 高分子ヒアルロン酸とドキシサイクリンからなる含水ゲルの薬物放出挙動

日本薬剤学会第16年会 (2001.3)

四方田千佳子, 田頭洋子, 岡田敏史: ヒアルロン酸架橋ゲルと医薬品による規則的複合体形成と放出挙動

日本薬剤学会第16年会 (2001.3)

斎藤博幸, 谷本 剛, 岡田敏史, 奥平桂一郎\*, 半田哲郎\*: **Titration Calorimetry**によるアポEの脂質膜結合機構の解析

第42回日本脂質生化学研究会研究集会 (2000.6)

\*京都大学大学院薬学研究科

田中将史\*<sup>1</sup>, 斎藤博幸, 岡村恵美子\*<sup>2</sup>, 木村智大\*<sup>2</sup>, 中原 勝\*<sup>2</sup>, 半田哲郎\*<sup>1</sup>: アポリポ蛋白質A-Iによる脂質膜認識機構

第42回日本脂質生化学研究会研究集会 (2000.6)

\*<sup>1</sup>京都大学大学院薬学研究科

\*<sup>2</sup>京都大学化学研究所

Handa, T.\*, Saito, H., Okuhira, K.\*, and Tanaka, M.\*: **Distinct Apolipoprotein Bindings to PC Monolayers of Emulsions and PC Bilayers of Vesicles**

International Conference on Colloid and Surface Sciences (2000.11)

\* Graduate School of Pharmaceutical Science, Kyoto University

田中将史\*<sup>1</sup>, 斎藤博幸, 岡村恵美子\*<sup>2</sup>, 木村智大\*<sup>2</sup>, 中原 勝\*<sup>2</sup>, 半田哲郎\*<sup>1</sup>: アポリポ蛋白質A-Iのトリグリセライド(TG)-rich リポ蛋白質粒子表面への結合

第22回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム (2000.11)

\*<sup>1</sup>京都大学大学院薬学研究科

\*<sup>2</sup>京都大学化学研究所

Koide, T., Fuchino, H., Sekita, S., Satake, M.: **New active compounds for UTA from several medicinal plants growing in Peru and Brazil**

International Congress of Traditional Medicine (2001.1)

江頭昌志\*, Gorbenko Galyna\*, 田中将史\*, 斎藤博幸, 中野 実\*, 半田哲郎\*: アポA-Iモデルペプチドと脂質2分子膜の相互作用—コレステロールの効果

日本薬学会第121年会 (2001.3)

\*京都大学大学院薬学研究科

Hiroyuki Saito, Sissel Lund-Katz<sup>1</sup>, Karl H. Weisgraber<sup>2</sup>, and Michael C. Phillips<sup>1</sup>: **Role of Amino- and Carboxyl-Terminal**

**Domains in Apolipoprotein E-Lipid Interaction**

Experimental Biology 2001 (2001.3)

<sup>1</sup>The Children's Hospital of Philadelphia

<sup>2</sup>Gladstone Institute of Cardiovascular Disease

大石なみき\*, 森久保聡一\*, 高村佳弘\*, 中村精吾\*, 都筑昌哉\*, 赤木好男\*, 前川京子, 谷本 剛: ヒト糖尿病白内障と赤血球アルドース還元酵素との関係

第7回日本糖尿病眼学会総会 (2001.3)

\*福井医科大学

Hiroyuki Saito, Sissel Lund-Katz<sup>1</sup>, Karl H. Weisgraber<sup>2</sup>, and Michael C. Phillips<sup>1</sup>: **Role of Amino- and Carboxyl-Terminal Domains and Polymorphism in the Lipid- and Heparin-Binding Properties of Human Apolipoprotein E**

2nd Annual Conference on Arteriosclerosis, Thrombosis and Vascular Biology (2001.5)

<sup>1</sup>The Children's Hospital of Philadelphia

<sup>2</sup>Gladstone Institute of Cardiovascular Disease

吉井公彦, 開原亜樹子, 津村ゆかり, 中村優美子, 石光 進, 外海泰秀: 小麦中マラチオンの酵素的分解産物

第50回日本薬学会近畿支部総会・大会 (2000.10)

津村ゆかり, 石光 進, 開原亜樹子, 吉井公彦, 中村優美子, 外海泰秀: 市販弁当(いわゆるコンビニ弁当)から検出されたフタル酸エステル類及びその混入源の究明

第50回日本薬学会近畿支部総会・大会 (2000.10)

中村優美子, 津村ゆかり, 開原亜樹子, 吉井公彦, 石光 進, 外海泰秀: ケルセチン及びルチンのラットにおける代謝並びにステロイド排泄等に及ぼす影響

第50回日本薬学会近畿支部総会・大会 (2000.10)

岡野有見子\*, 赤澤麻衣子\*, 藤田笑実\*, 藤本貞毅\*, 石光 進, 外海泰秀: 食用タール色素の光分解におよぼす脂質の影響

第50回日本薬学会近畿支部総会・大会 (2000.10)

\*京都薬科大学

天倉吉章, 海野有紀子, 辻 澄子, 外海泰秀: ペリ一類中ポリフェノール類のジャム加工による変化

第50回日本薬学会近畿支部総会・大会 (2000.10)

辻 澄子, 海野有紀子, 天倉吉章, 外海泰秀: 食用青色1号アルミニウムレーキの不適事例について

第37回全国衛生化学技術協議会年会 (2000.10)

天倉吉章, 海野有紀子, 辻 澄子, 外海泰秀: 天然酸化防止剤ユーカリ葉抽出物の成分分析

日本食品衛生学会第80回学術講演会 (2000.11.9)

石光 進, 開原亜樹子, 吉井公彦, 津村ゆかり, 中村優美子, 外海泰秀: HPLCによる農産物中ハロスルフロメチルの分析法の検討

日本薬学会第121年会 (2001.3)

辻 澄子, 海野有紀子, 中村優美子, 外海泰秀: 食用青色 1 号(プリリアントブルー FCF)のアルカリ分解により生成する副成色素について

日本食品衛生学会第 81 回学術講演会 (2001.5)

海野有紀子, 辻 澄子, 中村優美子, 外海泰秀: 食用赤色 40 号及び黄色 5 号アルミニウムレーキ中の副成色素などの HPLC 定量用試験液調製法の検討

日本食品衛生学会第 81 回学術講演会 (2001.5)

開原亜樹子, 吉井公彦, 津村ゆかり, 石光 進, 外海泰秀: SFE および LC/MS を用いた穀類・青果物中 18 種農薬の迅速一斉分析法

日本食品衛生学会第 81 回学術講演会 (2001.5)

津村ゆかり, 石光 進, 開原亜樹子, 吉井公彦, 外海泰秀: 各種食品中のフタル酸エステル等プラスチック可塑剤の分析

日本食品衛生学会第 81 回学術講演会 (2001.5)

村井敏美: Interleukin-1(IL-1)によるヒトメラノーマ細胞の細胞周期停止の分子メカニズムについて

第 59 回日本癌学会総会 (2000.10)

村井敏美: エンドトキシン試験法

第 14 回日本動物実験代替法学会 (2000.11)

村井敏美, 中川ゆかり, 前田秀子: ヒト単球系株化細胞を用いた *in vitro* 発熱性物質試験法の開発

第 14 回日本動物実験代替法学会 (2000.11)

村井敏美, 中川ゆかり: ヒト単球様株化細胞を用いた *in vitro* 発熱性物質試験法の開発—試験細胞株の開発とその評価—

第 74 回日本細菌学会総会 (2001.4)

中川ゆかり, 前田秀子, 高岡 文\*, 村井敏美: 培養細胞を用いた *in vitro* 発熱性物質試験法の開発—ヒト単球様細胞株のサイトカイン産生を指標とする試験系について—

第 24 回防菌防黴学会年次大会 (2000.5)

\*和光純薬工業(株)大阪研究所

中川ゆかり, 村井敏美: ヒト単球様株化細胞を用いた *in vitro* 発熱性物質試験法の開発—endotoxin と他の発熱性物質の相乗作用—

第 74 回日本細菌学会総会 (2001.4)

配島由二, 村井敏美, 中川ゆかり, 長谷川千恵, 矢上 健, 中村晃忠, 平田陸正\*: 天然医用材料由来創傷被覆剤のエンドトキシン汚染調査

日本薬学会第 121 年会 (2001.3)

\*岩手医科大学

江馬 眞, 原園 景: ラットの妊娠初期に投与した dibutyltin dichloride の胚致死作用

第 27 回日本トキシコロジー学会学術年会 (2000.6)

江馬 眞, 宮脇英美子: ジブチルフタレートの子ラットにおける雄胎児の性分化に及ぼす影響

第 40 回日本先天異常学会 (2000.7)

Emma, M: Developmental and reproductive toxicity of tributyltin and its metabolite, dibutyltin, in rats

6th Scientific Meeting of the International Federation of Teratology Society (IFTS), Satellite Meeting, Hiroshima (2000. 7)

Emma, M: Two-generation reproduction study of bisphenol A in rats

Endocrine Disruptors Low Dose Peer Review, US EPA and NIEHS, NIH, NTP (2000.10)

Emma, M: Endocrine disruptors: towards risk assessment low dose effects

第 1 回国立衛研安全性生物試験研究センターと韓国FDAとの合同シンポジウム (2000.10)

Emma, M: Establishment of TDI for dioxin in Japan toxicity data used as the basis for TDI

第 1 回国立衛研安全性生物試験研究センターと韓国FDAとの合同シンポジウム (2000.10)

江馬 眞: ビスフェノールAの子ラットにおける 2 世代繁殖試験

第 3 回内分泌攪乱化学物質問題に関する国際シンポジウム (2000.12)

Emma, M, Miyawaki, E: Decreased anogenital distance (AGD) and undescended testes in fetuses of rats given monobutyl phthalate (MBP) during pregnancy

Society of toxicology, the 40th Annual Meeting (2001.3)

青柳光敏\*, 姉帯正樹\*, 林 隆章\*, 柴田敏郎, 畠山好雄: 木香の調製法と化学的品質評価—部位, 根径, 収穫期別試料の品質評価—

日本生薬学会北海道支部第 24 回年会 (2000.6)

\*北海道立衛生研究所

柴田敏郎: カワラヨモギについて

第 10 回薬用植物栽培技術フォーラム (2000.7)

熊谷健夫, 柴田敏郎, 畠山好雄: ハナトリカブトの種いも重量が生育, 収量に及ぼす影響について

日本生薬学会第 47 回年会 (2000.9)

青柳光敏\*, 姉帯正樹\*, 林 隆章\*, 柴田敏郎, 畠山好雄: 川芎の湯通し条件と化学的品質評価

日本生薬学会北海道支部第 25 回年会 (2001.5)

\*北海道立衛生研究所

細川敬三, 菱田敦之, 柴田敏郎, 川原一仁\*, 中村郁郎\*, 西原昌宏\*, 山村三郎\*: 葉緑体 rpl16 遺伝子領域の塩基配列解析に基づく *Scutellaria* 属植物の識別

日本生薬学会第 47 回年会 (2000.9)

\*1(株)日野薬品

\*2千葉大学大学院自然科学研究科

\*3(財)岩手生物工学研究センター

福田達男\*1, 伊吹直登\*1, 渡辺裕文\*2, 細川敬三, 菱田敦之, 柴田敏郎: タクシャの基原植物サジオモダカとその類縁植物について

日本生薬学会第47回年会 (2000.9)

\*1東京都薬用植物園

\*2農林水産省蚕糸昆虫技術研究所

細川敬三, 柴田敏郎, 中村郁郎\*1, 西原昌宏\*2, 山村三郎\*2: 葉緑体 rpl16 遺伝子領域の塩基配列解析に基づく *Papaver* 属植物の識別

日本園芸学会平成12年度秋季大会 (2000.9)

\*1千葉大学大学院自然科学研究科

\*2(財)岩手生物工学研究センター

田中章江\*, 下村講一郎, 石丸幹二\*: ヒマラヤヤマボウシ (*Cornus capitata* cv. 'Mountain Moon') 不定根のタンニン生産能(1)

第18回日本植物細胞分子生物学会大会・シンポジウム (2000.7)

\*佐賀大学農学部

東野 薫, 吉松嘉代, 石丸幹二\*1, 矢崎一史\*2, 下村講一郎: シコニン誘導体を生産するムラサキ培養シュートに関する研究

第18回日本植物細胞分子生物学会大会・シンポジウム (2000.7)

\*1佐賀大学農学部

\*2京都大学大学院生命科学研究科

田中章江\*1, 石丸幹二\*1, 藤岡稔大\*2, 藤井寛子\*2, 三橋國英\*2, 田中 隆\*3, 下村講一郎: ヒマラヤヤマボウシ不定根の成分

日本生薬学会第47回年会 (2000.9)

\*1佐賀大学農学部

\*2福岡大学薬学部

\*3長崎大学薬学部

吉松嘉代, 西 孝三郎, 畠山好雄, 下村講一郎: けしがら濃縮物製法に関する基礎的研究 (1)筑波栽培ケシ植物体のアヘナルカロイド

日本生薬学会第47回年会 (2000.9)

Tanaka, N.\*, Ishimaru, K.\* and Shimomura, K.: Antioxidative and radical scavenging activities of adventitious roots in *Cornus capitata* 'Mountain Moon'

The Asia Pacific Conference on Plant Tissue Culture & Agribiotechnology, Singapore (2000. 11)

\*佐賀大学農学部

Touno, K., Yoshimatsu, K., Yazaki, K.\* and Shimomura, K.: Unusual shikonin derivative formation on *in vitro* shoot stem of *Lithospermum erythrorhizon*

The Asia Pacific Conference on Plant Tissue Culture & Agribiotechnology, Singapore (2000. 11)

\*京都大学大学院生命科学研究科

Yoshimatsu, K., Shu, W.\* and Shimomura, K.: Cryopreservation of medicinal plant somatic embryos; *Panax ginseng*, *Coptis japonica* and *Santalum album*

The Asia Pacific Conference on Plant Tissue Culture & Agribiotechnology, Singapore (2000. 11)

\* Singapore Polytechnic

深見裕之\*1, 朝倉富子\*2, 平野 啓\*1, 阿部啓子\*1, 下村講一郎, 山川 隆\*1: ペラドンナ毛状根におけるサリチル酸メチルトランスフェラーゼ遺伝子の単離と解析

日本農芸化学会2001年度大会 (2001. 3)

\*1東京大学大学院農学生命科学研究科

\*2跡見短期大学家政

田中章江\*, 石丸幹二\*, 下村講一郎: 各種植物培養根を用いたタンニン酸のエラグ酸への変換

日本薬学会第121年会 (2000. 3)

\*佐賀大学農学部

東野 薫, 吉松嘉代, 畠山好雄, 矢崎一史\*, 下村講一郎: 培養ムラサキシュートにおけるシコニン誘導体形成—シコニン誘導体含量に対するエチレンの影響—

日本薬学会第121年会 (2000. 3)

\*京都大学大学院生命科学研究科

別井史枝\*1, 田中章江\*2, 加藤美恵子\*1, 藤伊 正\*1, 下村講一郎: *Raphanus sativus* L. cv. *peking koushin* (北京紅芯ダイコン) 不定根培養のアントシアニン生産

日本薬学会第121年会 (2000. 3)

\*1東洋大学生命科学部

\*2佐賀大学農学部

Da-Woon 鄭\*1, 成 忠基\*1, 今泉信之\*2, 田中宥司\*3, 吉松嘉代, 下村講一郎: Isolation of growth-stimulating factors from *Hyoscyamus niger* adventitious roots using mRNA differential display

日本薬学会第121年会 (2000. 3)

\*1韓国全南大学薬学部

\*2(株)ジャパン・ターフグラス

\*3農業生物資源研究所

高上馬希重, 飯田 修, 関田節子, 佐竹元吉, 牧野由紀子\*: 大麻 *Cannabis sativa* L. における ISSR 解析

日本DNA多型学会第9回学術集会 (2000.12)

\*関東信越地区麻薬取締官事務所

高上馬希重, 飯田 修, 牧野由紀子\*, 関田節子, 佐竹元吉: 大麻 (*Cannabis sativa* L.) の cannabinoid に関する AFLP マーカーの探索

日本薬学会第121回年会 (2001.3)

\*関東信越地区麻薬取締官事務所

飯田 修, 高上馬希重, 栗原孝吾, 山田和也: 伊豆半島で見出された耐塩性ミシマサイコ (*Bupleurum falcatum* L.) について

日本薬学会第121回年会 (2001.3)

香月茂樹, 鏑木絢一, 野崎トモ子, 飯田 修, 高上馬希重, 栗原孝吾, 山田和也, 黒柳正典\*: 「薬用植物資源のジーンバンク化に向けて」日本国内で保存されている *Curcuma* 属植物の特性評価 (形質とゲノム情報) について

日本薬学会第121回年会 (2001.3)

\*広島県立大学

高上馬希重, 飯田 修, 牧野由紀子\*, 関田節子, 佐竹元吉: *Cannabis sativa* L. における多様性とその識別について

日本育種学会第99回年会 (2001.4)

\*関東信越地区麻薬取締官事務所

西部三省\*, 野口由香里\*, 韓 英梅\*, 酒井英二, 田中俊弘\*\*, 高野昭人\*\*\*: 漢薬・絡石藤の基原とフラボノイド指標成分

日本生薬学会第47回年会 (2000.9)

\* 北海道医療大・薬

\*\* 岐阜薬大

\*\*\* 昭和薬大

高井善孝\*, 有本恵子\*, 岩田善子\*, 小川 徹\*, 黄 啓榮\*, 金谷友成\*, 酒井英二, 嶋田康男\*, 高木 昭\*, 谷山登志男\*, 中島健一\*, 野口 衛\*, 東 昭夫\*, 久田陽一\*, 俣野豊\*, 守安正恭\*, 山本 豊\*, 横倉胤夫\*: 生薬品質集談会報告第31報 ハッカについて

第29回生薬分析シンポジウム (2000.12)

\*生薬品質集談会

酒井英二, 川村智子\*, 横江美里\*, 野呂征男\*, 田中俊弘\*\*: 車前草の生薬学的研究 遮光条件下で栽培したオオバコの生育および成分

日本薬学会第121回年会 (2001.3)

\* 名城大学・薬

\*\* 岐阜薬大

中根孝久, 関田節子, 佐竹元吉, 細川敬三, 畠山好雄, 柴田敏郎, 飯田 修, 香月茂樹: マオウ科 *Ephedraceae* 植物のエフェドリン含量—国内栽培試験種及び国外野生種—

日本生薬学会第47回年会 (2000.9)

大根谷章浩\*<sup>1</sup>, 石井里枝\*<sup>2</sup>, 香月茂樹, 北中 進\*<sup>1</sup>: アカメガシワ (*Mallotus japonicus*) の抗アレルギー成分について

日本薬学会第121回年会 (2001.3)

\*<sup>1</sup> 日本大学薬学部

\*<sup>2</sup> 埼玉県衛生研究所

関澤 純, 江馬 真: 環境ホルモン物質としてのリスク評価の検討

第3回内分泌攪乱化学物質学会研究発表会 (2000.12)

安達玲子, 松井幸子\*, 楠井 薫, 山口照英, 笠原 忠\*, 早川堯夫, 鈴木和博: 食細胞のコフィリンの活性制御におけるホスホリパーゼCの役割

第73回日本生化学会大会 (2000.10)

\* 共立薬科大学

渡辺秀実\*, 浜野美紀子\*, 安達玲子, 楠井 薫, 笠原 忠\*, 鈴木和博: 白血球細胞の分化に対する内分泌攪乱物質の影響

第73回日本生化学会大会 (2000.10)

\* 共立薬科大学

渡辺秀実\*, 安達玲子, 楠井 薫, 笠原 忠\*, 鈴木和博: 白血球細胞の分化に対する内分泌攪乱化学物質の影響

第30回日本免疫学会総会・学術集会 (2000.11)

\* 共立薬科大学